朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三二〇五 營業局專用③三二〇三
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

ボーランド公使 信任狀捧呈

【東京國通】新任ボーランド公使タデウス、ローメル氏は廿六日宮中に參内信任狀を捧呈した

熱球讃歌のフィナーレ

輝やく緋の優勝旗 電業支社頭上へ！

全新京野球大會終る

前後四日間に亘り西公園原頭に繰りひろげられた本社主催、西山運動具店後援の第四回全新京野球大會は廿六日いよ〳〵優勝戰を迎へたが、試合第二日、第三日の惡コンディションに比し第四日は朝來の冷氣も午後より誂へ向きの春陽に變りグラウンドは殆ど無風の惠まれた野球日和となつた、躍進目覺しい電業王國を讃へる本社、支店の各ナインは連日の健鬪に群がる古豪新進を薙ぎ倒し、こゝに奇しくも覇權を相爭ふ、早くも午後四時には兩チームともグランドに勇姿を表はし、支店側一壘に本社側三壘に陣取り、フリーバッテングを開始、覇權への萬全を期すれば、此の日また黑山の如きファン、一、三壘スタンドに劃然と分れ、いよ〳〵逼る大野球に相應しい生彩を添へ、新京放送局また此の日の盛況をマイクを通じて全滿に贈らんと準備に余念のないのもます〳〵大會氣分を高潮に達せしめる、かくして定刻五時スヰッチは切られ、同六分球審内山、壘審高橋、小幡三氏悠々定位置につけば萬場の拍手に送られて支店側先づ守備につき、本社先攻のもとにプレイーボールとなつたが、一進一退の火を噴く熱戰の連續展開の後遂に覇權は電業支店の獲得するところとなつた、かくしてシーズン劈頭の球史を飾る本大會は豪壯を極むる多彩な戰跡を記して茲に輝やかしい終局の緞帳を静かに下したのである

10A—9 緒方（電支）君殊勳の二壘打 九回裏の大波瀾

審判（球）内山（壘）高橋、小幡、試合開始五時十分、閉戰七時四十分 先攻電業本社

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
支社電業	0	0	0	5	0	1	0	0	4A	10A
本社電業	2	0	0	0	3	1	0	1	2	9

9—10A

▽一回（本）藤田、吉田ともに四球、針原打者の時捕手の牽制球に吉田刺殺、針原投匍、杉谷中前安打に藤田生還、杉谷二盜成り、梅本四球、村井遊飛失に二死滿壘となつたが黑明三振然し乍ら此の回本社二點先取▲（支）緒方四球、孫打者の時捕手一壘牽制暴投に緒方一擧三壘を衝き山田の遠球よく刺する、孫四球、江藤遊匍に孫封殺、杉田打者の時江藤二盜成る、杉田四球、片岡三匍（本2—支0）

▽二回（本）佐賀内野飛、藤田投匍、吉田二匍に三者凡退▲（支）桑原死球を得山本中前安打に出でしも小池の三匍に桑原、小池重殺を喫し三輪、緒方四球と續き二死滿壘となつたが孫投匍に無爲（兩軍—0）

▽三回（本）針原中飛、杉谷四球を得たが投手牽制球にかゝり二壘挾殺、梅本遊匍へ▲支江藤二匍、杉田四球片岡打者の時杉田二盜成功片岡中飛、桑原二匍（兩軍—0）

▽四回（本）村井左飛　山田右飛　黑明二匍▼（支）山本遊匍失に生き小池の中前安打に二進、三輪打者の時投手暴投に二、三進、三輪右前安打に山本生還一點を返へしなほも無死走者一、三壘の好機を續く、緒方遊越安打に小池生還、孫右前安打に三輪生還江藤打者の時またも投手暴投に緒方生還、江藤四球（本社此の時投手黑明右翼に吉井投手となり山田退く）杉田打者の時江藤二盜、杉田三振、片岡の右飛、黑明顚倒しつゝよく摑んだが、孫その間に生還、桑原投匍に本店ピンチを切り拔けたが、支店此の回一擧五點を擧げ形勢逆轉（本0—支5）

▽五回（本）佐賀捕邪飛、藤田中越二壘打を放ち、吉田四球と續いたが針原二飛、杉谷打者の時走者ダブルスチール成功、杉谷中越二壘打に藤田、吉田生還その差を一點に縮め續いて梅本右越二壘打と大物を飛ばし杉谷生還、同點となつたが村井投匍に終る▲（支）山本一匍、小池投匍、三輪三振（本3—支0）

▽六回（本）吉井投匍失に危く生き、黑明四球（此の回支店西川が投手、桑原二壘へ杉田三壘、小池退く）佐賀三振、藤田三遊間安打に吉井生還一點リード、吉田四球、針原投匍に黑明と重殺▲（支）緒方四球、孫左テキサス、江藤打者の時捕手二壘牽制暴投となり走者二、三進、江藤中飛、その間緒方生還、再び同點となる續いてけ、杉田の猛烈な三直飛、佐賀よく止め、片岡中飛に戰ひいよ〳〵白熱のシーソーゲームを續ける（本1—支1）

▽七回（本）杉谷中飛、梅本四球を得たが二盜成らず、村井二越安打、吉井遊飛失に生きしも黑野中飛に得點ならず（支）桑原中越二壘打に出で、投手暴投に三進山本一匍、西川バントを試みれば捕前小フライとなりわづかにファウルとなり、滿場いよ〳〵湧く、西川右飛、三輪四球打順よく強打者緒方を迎へたが遊飛に空しく好機を逸す（兩軍—0）

▽八回（本）佐賀三壘線寄り安打に出で藤田左前安打と續き吉田右飛後、針原中前安打に一死滿壘の好機を迎へ杉谷よく四球を得て佐賀押し出しの一點、梅本の右飛に藤田ホームを衝いたが返球よく刺さる▲（支）孫遊飛、江藤一、二壘安打に出でしも杉田バント失敗、江藤盜壘成功したが片岡遊匍にやむ（本1—支〇）

▽九回（本）村井二匍、吉井左前安打、黑明三遊間安打と續き佐賀四球に一死滿壘藤田の中前安打に吉井黑明生還、佐賀三壘刺殺、吉田右飛、然し乍ら此の回二點を擧げ、その差三點と離す▲（支）最後の猛攻撃は桑原遊前遊擊手暴投に二進山本四球西川一、二間安打に無死滿壘の絶好チャンス果然ファン熱狂に滿場湧き立つ三輪遂に四球を得桑原押し出しの一點なほも無死滿壘リーディングヒッター緒方よく右中間二壘打に山本西川生還また同點、滿場總立ち、孫左飛を放三輪生還遂に支店の挽回成る（本2—支4A）

▲トータル

	(電本)	得	打	安	盜	三	四	殘	失
2	藤田	2	5	4	1	0	1	2	1
4	吉田	1	3	0	1	0	3	0	0
8	針原	0	5	2	0	0	2	1	0
6	杉谷	2	3	2	1	0	2	1	2
7	梅本	0	3	1	0	0	2	2	0
3	村井	0	5	1	1	0	1	2	0
9	山田	0	1	1	0	0	1	1	0
1	吉井	2	3	1	0	0	1	1	0
1	黑明	1	4	1	0	1	1	0	3
5	佐賀	1	4	1	0	1	1	0	0
		9	36	14	4	2	16	10	6

	(電支)	得	打	安	盜	三	四	殘	失
6	緒方	2	3	2	0	0	3	1	2
8	孫	1	5	2	0	0	1	1	0
9	江藤	0	4	1	3	0	1	3	0
4	杉田	0	3	0	1	1	2	2	0
2	片岡	0	5	0	0	0	0	0	0
1	桑原	1	4	1	0	0	1	1	0
3	山本	2	4	1	0	0	1	1	0
5	小池	1	3	1	0	0	0	0	0
1	西川	1	2	1	0	0	0	0	1
7	三輪	2	2	1	1	1	2	2	0
		10	34	11	5	2	11	11	3

二壘打（五）緒方、桑原（電、支）藤田、杉谷、梅本（電、本）

上田大會長の手で優勝旗賞品授與 打擊賞は緒方君へ

試合時間二時間四十分、回を重ねる毎に波瀾萬丈、息つく暇なき熱戰力鬪に、觀衆を熱狂の坩堝に沸ぎらせつゝシーズンの首途を祝福する本大會の優勝戰に誠に相應しい大試合を展開したが、支店の頑張り物凄く遂に最終回に至り三點の差を此の日の殊勳者にしてまた本大會のリーデングヒッターたる緒方遊擊手の二壘打にて支店側の覇業を決定、漸く逼る薄暮の中に十A對九のスコアにて午後七時四十分試合終了、直ちに優勝旗盃授與式に移り、大會々長本社上田代表から榮えある緋の本社大優勝旗、西山運動具店大優勝旗を始め三種之神器盃星野總務廳長盃（持ち廻り）韓特別市長盃（獲得）は支店片岡主將以下に、續いて准優勝盃山口滿鐵新京事務局長盃（持ち廻り）柴崎總領事盃（獲得）は本社杉谷主將以下に副賞とともに授與され、また打擊賞は六割の高率を示した支店緒方遊擊手に萬場の拍手裡に授與され、上田會長感謝の辭ありたる後、兩軍ナインの萬歲、フラッシュ閃光裡に意義ある第四回全新京野球大會は稀有の成功裡に滯りなく絢爛の幕を閉ぢた

ネット裏から

出場各チーム共練習不足は氣候の關係止むを得ぬとしても四月一日から足ならしを始め南嶺へマラソンしたり屋內でキャッチボールをやつたといふ電業の制覇またむべなる哉。

◇

應援團も喧嘩腰にはなれぬと見えて案外寂寥、只九回裏に一寸昂奮の色が見えただけで至極兄弟仲のいゝ試合だつた、七回裏西川君のバンドがファウルとなり一寸文句を云ひに行つた片岡君が納得してかへる時の晴れた笑顔—滿點—

◇

新京の婦人にも相當野球熱が高まつて來たことは嬉しい好きな奥さんも居るが一寸きまりが悪い位の事で引込んで居るやうではいけない球場に出て應援することは球界を隆盛にする一助である、だが自分一人餘念なく見入つてうしろに泣きわめく幼兒をほつたらかしておくかあちゃんはどうかと思ふね。

◇

野球のみならずすべての競技を盛んにするためには一家一社、一市、一同こぞつての應援が肝心、競技者一人勝手に練習し試合せ！では發展は望めない、今度の大會風强、寒氣嚴しかつたにもかゝはらず連日ファンで球場滿員は新京の野球ののびる善兆今後一段の應援が望まれる

寫眞

一、優勝チーム電業支店
二、打擊賞を獲得した電支緒方君
三、優勝旗授與式
四、四回裏電支三輪君のホームイン
五、戰績を物語るスコアーボールド
六、球場に整列した兩軍チーム

電本 2000031012
電支 0005010004

優勝戰戰評

兩軍の實力は略々同等であるのだから、結局は打擊戰となるのではないかと思はれた、併し現在本大會試合に於て比較的好調だつた兩軍の投手吉井（電本）（西川）電々がプレートに立つとすれば或ひは花々しい投手戰が行はれるのではないかと期待してゐたが意外にも兩軍共に左腕投手桑原（電支）黑明（電本）が起用された兩者共に未だ練習不足の爲かコントロールなく、結局はマウンドを讓らねばならなくなつた。

一回電本の二點は桑原が四つの四球を與へた事が最大原因となるだらう又四回電支が一擧に五點を得たのは黑明投手が肩の亂れからそれを直さんとしてプレートの眞中に投げ込む直球を殆んど打にれ四つの連續安打を奪はれ而も黑明自身二つの暴投をするなど全くの不調だつた、併し一方次の五回には電支の桑原投手も矢張電本の猛打を食つて後退の止むなきに至つた次の六回の兩軍各々の一點は相互の敵失より奪つたものである、八回に一點九回に二點と合計三點を電支より奪つて電本の勝利かと思はせたが最終回にして吉井投手のコントロールが稍々亂れてきた事は電本にとつては殘念なことであらうが無死滿壘で緒方が打つた右中間を拔く二壘打は誠に稱讃すべきであり本日に於る優勝戰の花形とも言へやう

ともあれ投手の不調もさる事ながら期待に反せず打擊戰であり而もシーソーゲームで其勝敗の豫測を許さず、九回裏電支の見事なウッチャリは興味あるものであつた。

定例閣議

【東京國通】廿六日の定例閣議は午前十時半首相官邸に開會、林首相以下全閣僚出席、まづ河原田內相より廿四日現在における選擧違反狀況に關し

前回の選擧に比し違反件數において半數以下に激減、人員においては三分の一以下に減少してゐるが、右は選擧肅正運動が漸次徹底したのと候補者および運動員等が前回の選擧により現行法規定に通曉したのと形式犯を特にやかましくいはないことなどに基因してゐるものと思ふ

旨を報告し、ついで伍堂商相より物價對策委員會の組織に關し

委員數は廿名內外とし、各關係省の官吏および財界方面の實力者を詮衡することゝし會長は總理大臣、副會長は大藏、農林、商工の三大臣をもつてこれに當ることゝし、右委員會は官制によらざる閣議決定事項として出來る限り速に委員の詮衡を終り遲くも總選擧直後には設置したい

旨を報告、これに對し河原田內相より「委員會には生產者側のみならず消費者代表をも委員に加ふべきではないか」と提議し各閣僚もこれに贊意を表し午後零時二十分散會した、人事中主なるものとしては京都帝大教授神戸正雄氏の依免本官を決定した

松岡總裁、陸相と會談

【東京國通】松岡滿鐵總裁は廿五日午後二時陸相官邸に杉山陸相を訪問し、現地の狀況ならびに滿洲國產業開發計畫に伴ふ滿鐵の事業計畫などに關して報告し、種々意見の交換を遂げるところあつた

林首相も訪問

【東京國通】廿六日陸相と會見した松岡滿鐵總裁は同日午後三時半さらに官邸に林首相を訪問、上京の挨拶を述べたのち滿鐵最近の業績および今後の方針などにつき詳細說明し、四時半過ぎ辭去した

張總理一行 咸興て長津江發電所視察

（朱乙廿六日發國通）廿六日午前六時四十五分張總理一行は朱乙着、溫泉に旅塵を洗つて今日は一日悠々靜養することゝなつた、咸興では野口コンツェルンが誇る東洋一の長津江發電所を視察した、鴨綠江に流れる河を堰止めて六里のトンネルによつて日本內側に逆流せしめ四十萬キロの電力を起してゐる、この邊り赴戰高原と稱し海拔四千尺、一行は自動車二十八臺を連ねて往復七十里の難路を突破、山腹を縫ふて登る、見下せば千丈の斷崖の上を進んでゐる「お疲れでせう」と張總理に尋ねると「ふゝ」と笑つて「素晴らしい設備だ」と一言語つて設計者久保田技師長の說明を熱心に聽入つた、實に矍鑠たる老宰相である

安川東拓總裁 あす來京

【奉天國通】東拓總裁安川雄之助氏は在滿支店業務ならびに一般事情視察のため廿六日午後五時廿分着ひかりで關係者多數の出迎裡に來奉した、同氏は奉天に二泊、廿八日午前八時奉天發新京へ向ふ

大連へ榮轉 バス會社中馬氏

新京交通會社營業課長中馬宗氏は今回大連交通會社に榮轉二十七日あじあで赴任するなほ後任は當分永井支配人が兼務する、中馬氏は挨拶のため來社した

故佐藤訓導遺骨 けふ鄕里へ

二十六日本葬儀を營まれた八島小學校故佐藤訓導の遺骨はアヤ子未亡人及び兩親に護られて二十七日午前十時發ほとで鄕里宮城縣へ還送される

渡邊教諭着任

新京中學校に任命された渡邊教諭は二十六日午後六時二十分着あじあで着任した

水電工程處長 空閑氏來社

國務院水力電氣局工程處長空閑德平氏は二十五日挨拶に來社

人事往來

▲足羽憲二郎氏（官吏）二十六日來京都ホテル ▲淺目勝二氏（同）同 ▲藤參謀々長、同大連へ ▲增參謀、同 ▲孫電業副理事長、同 ▲劉立法院秘書長、同 ▲田中中銀總裁、同

航空往來

▲竹內朋起氏（農業）二十六日ハルビンへ ▲荒木遞信課長、同奉天へ ▲吉川寛氏（會社員）同牡丹江へ ▲坂本泰通氏（請負業）同チチハルから ▲平田吉氏（會社員）同ハルビンから ▲永濱德市氏（請負業）同牡丹江から ▲伊藤勘造氏（會社員）同 ▲本多正氏（滿日）同 ▲米澤但助氏（請負業）同ハルビンから ▲石橋才藏氏（官吏）同大連から ▲川崎重男氏（會社員）同奉天から

偶語

滿鐵附屬地內の道路は行政權委讓までに完全とはいかぬまでも大體恥しくない程度に▼改修を加へて貰いたいといふことを過般奉天で開かれた全滿地方委員聯合會で決議した▼新京地方委員會にてはその決議に基き附屬地本年度豫算のうち土木費を更に十數萬圓增加し▼道路の改修をなすやう事務局地方課に提出地方課としても實狀にかんがみて▼未完成道路の竣成並に改修工事に着手することゝなつた模樣であるが、これは寔に結構な事である▼然るに仄聞するところによれば昨年決定を見、着手したまゝで本年に持ち越された西公園音樂堂の建設が▼道路工事の犧牲となつて取止めとなるのではないかといふ話がある▼音樂が一般の情操教育にどれだけの効果あるかといふことは喋々を要せず▼更に又三十萬の市民を抱擁する國都の體面上から云つても音樂堂は必須なるものゝ一つであることは言を俟つまでもなきことである▼斯く見るとき滿鐵は地方行政三十年の有終の美を飾る置土產として是が非でも實現されんことを切望するものである

社説

世界經濟會議の問題 再開機運濃化を續つて

一

一九三三年、倫敦に開かれた世界經濟會議が失敗して以來、國際經濟會議を再び開かうとする企ては時折り持たれたのであつたがつひに實現せずに今日に至つた。一般にそのやうな企てに對して悲觀的に見ることが普通だつたのである。しかしこの間に、世界の經濟情勢は大いに變化した世界經濟會議を再開し得るやうな事情も生じて來てゐる。また考へ方によつては、世界經濟會議をでも開いて、國際協調政策を押し進める事の必要性が大いに增してゐるとも言へる。各國が軍備の擴大に甚しく競爭的になつてゐる際協調政策といふ方に向つてもまたそれだけに注意が拂はれて來てゐる事實は、事態に一應の安全感を持たしめるものとして歡迎されるところであらう。

二

國際經濟會議開催の機運はルーズヴエルト大統領の再就任以來、その周圍から放送されてゐた。英國商相の訪米や米國のデヴイス氏が倫敦の砂糖會議に出席したこと等も、同じ噂の種となつた。その後英佛の提議によつて、白耳義の首相ゼーランド氏が會議招請に乘出す用意がある旨を聲明して以來、從前の臆說には明確な現實性が與へられたのである。英米でなくして、小國白耳義がこの會議の招請に當るといふ事は一見奇異である。それには中立還元といふ政策を最近取つて、集團的保障から脫却、他に自衞の方途を開拓しやうとする白耳義が英佛獨との都合のいい關係をつくるためにこの會議を有效に役立てやうとしてゐるものであらうと考へられる。

三

曾つて恐慌をいかにして克服するかが各國の當面の問題であつた時、各國とも國際協調政策を後にして先づ國內振興に力を注いだ。こゝに國家主義的な景氣政策が遂行されそして或る程度までその實果はあがつた。ところで國內的景氣政策によつて各國の景氣情勢が一定の水準まで浮び上ると今度は國際的景氣政策といふことが考へられて來る。國內に於ける經濟的困難が克服されると、各國の爲替相場の動搖で堪へ難いものになり爲替相場を確立するために國際制度を建設しやうとの試みが企てられて來るのが普通である。大體に於いて今日の國際經濟情勢は斯うした地點まで來てゐるものと考へられる。各國の通貨制度の現狀から考へても、この事實が知られるのである。會議が實際に具體化する際にはなほ種々の點より複雜な問題を生ずるであらうし、仔細に考慮すべき事項があるであらう。更に今後の動向を注視したいと思ふ

第六次全滿司法官會議 昨日から開く
朝鮮側からも列席

第六次全滿司法官會議第一日は廿六日午前十時より國務院大講堂において開催された本部より馮司法部大臣、古田次長、靑木民事、飯塚刑事、王行刑各司長、地方側より地方法院、檢察廳各次長、以上の法官等百三十名出席、來賓として呂民政部大臣始め滿洲國政府要人、日本側より鹿島關東高等法院長、同下田檢察官長、中里地方法院長、野村平壤覆審法院長、石川新義州法院長等が列席した

まづ國旗敬禮、回鑾訓民詔書の奉讀に次いで馮司法部大臣の挨拶、國務總理大臣の訓辭代讀あつて一同記念撮影をなし午前中を終つた、午後は一時より勝頭左の如き馮司法部大臣の訓示があつたが更に引續き最高法院長、同檢察廳長司法部次長、同民事司長、刑事司長の訓示並に指示が行はれるはずである

國務總理訓詞

國務總理大臣訓詞左の如し

わが國は王道をもつて立國の本とす、是をもつて議する者動もすれば曰ふ、先王の法は寬簡を尚び文網の密は王道の貴しとするところに非ざるなりと、余は謂ふ然らずと、法の正ならんとせば詳ならざるを得ず、唐虞の盛なる時典刑を象るに條目を設けしを聞かず、周穆に至り呂刑を作めしに五刑の屬するもの三千におよぶ、しかも孔子採つてもつてこれを尚書に列す、蓋し世風日に移り情僞百出するに際し、寬簡に出でこれが反覆その情を究むるを爲さゞれば何をかもつて善良を保護し姦宄を懲治し得んやわが國は肇興以來國法を修明すること遑々として既に舊法の弊を除き、ぎ雅して遺さず而して更に治外法權撤廢の美に至らんとす、法の運用に任る者その責たるや實に重なり、諸位威精明の識を以てわが司法の大識に當る余篤くその人を信じ而して深望するところのものあり、すなはちは詳するに難からずこれを施すにの當を得るの難きに在り、その當を得んと欲せば唯夫れ公に秉り誠に依るに在る耳公を以て法に秉り誠以て情を究め、而も民心悅服せずれ有らざるなり、四海の平治せざるは未だこれ有らざるなり、願はくば諸位夫れ之を勉められんことを

玆に第六回全國司法官會議に臨み以上を以て訓詞と爲す

司法部大臣訓辭

馮司法部大臣の訓辭要旨左の如し

綱紀肅正 我國は建國後日なほ淺く積年の弊風なほ俄かに去り難きものがあり、近時往々として綱紀の弛緩を耳にするはまことに遺憾の極みである、けだしその職司直に在る者は至公至平正を履んで畏れざるの精神ありてこそ克く司法官としての本分をつくすことが出來るのである、長官各位は深く思ひを玆に致され、人事黨督の重任に鑑み心神を新たにして徒らに舊慣を墨守することなく、克く急進新興國家の官吏たるの自負をもつて以身作則自ら風靡を樹つると共に下僚を率ゐて吏道の肅淸に邁進し以て司法威信の顯揚に力め、萬民安堵の基を樹つべきであると信ずる

司法機關の改組 昨年七月一日法院組織法の施行と共に興安省を除く全國に最高法院一、高等法院五、地方法院廿五、區法院卅七並に同數の對置檢察廳が設置せられたが元來地方法院、區法院の第一審事件についての管轄は同法院所在地の所屬する一縣の外に出でず、他の百數十縣に至りては尙舊政權時代の舊態依然たる所謂縣司法機關の管轄に屬してゐるのである、然しながら斯の如き司法機關の形態が法治國の體面に悖るは固よりその實質においても司法と行政の混淆が齎す弊害は實に滿洲國建國の理想を蹂躙するものであつて、これが存在は斷じて許すべからざるものであり、且は又領事裁判權の撤廢を目前に控へてその改組は最も喫緊にせまられた問題である、本部はこゝに鑑みるところあり本年度より三ヶ年の分期改組計畫を樹て、これが實施に着手せんとしてゐる

司法々規の整備 本部は夙に民情、國情に適する基本法典の立法を急ぎつゝあつたのであるが、幸ひ新刑法は本年一月四日公布四月一日これが施行を見、新刑事訴訟法も四月八日公布近く施行の豫定となつて居る、この外民法商法、民事訴訟法等の基本法ならびにこれに附屬する各種法規もそれぞれ正規提案をなし、或は既に本部の審議を了したるもの少からず、本年六、七月迄に順次公布の運びとなつてゐるのである、かくて我國の所謂六大法典制定の大事業はこゝ數個月を出でずして一擧完成せらるゝに至るのであるから、各位は宜しく新興國家の司法官として恥ぢざらんことを期し、その既に公布せられたるものは勿論、引續き公布せらるべき諸法典についても、深く專門的研鑽を怠らずその持つ根本精神內容の特殊性を充分把握すると共に下僚を誘掖指導して大いに法學研究の機運を作興せしめ、以てこれが施行の曉において法の運用に聊かの過誤なきを期せられたいのである

領事裁判權の撤廢 昨年六月十日友邦日本帝國はわが滿洲帝國の健全なる發達を助長せんとする國策に基きわが國との間に「滿洲國における日本國臣民の居住及び滿洲國の課稅に關する日本國滿洲國間條約」即ち治外法權の一部撤廢に關する條約を締結し同年七月一日よりこれを實施したのであるが極めて近き將來において更に領事裁判權及び附屬地行政權の撤廢等に關する條約を締結せんとする氣運が濃厚に釀成せられつつあることである、この條約締結の曉においては日本帝國はわが國に對する治外法權を全面的に撤廢することになるのである

被治外法權國が治外法權撤廢のため如何に苦難の途を辿つたかは近世史の雄辯に物語つてゐるところで今更贅言を要しない、殊に支那においては永年にわたる國民の熱望と政府の焦慮とに拘らず、今なほ治外法權撤廢の實現をみるに至らざることを顧るときわれわれは善隣日本帝國の友誼に對し滿腔の感謝を捧げずには居られないのである、しかしてわれわれがこの感謝の意を如實に表現する途はたゞわが國居住の日本國臣民の權益を治外法權撤廢後においても充分に擁護することを要するは言を俟たないところである

駐米ソ聯大使の奇怪なる聲明
目的奈邊にあるや不可解

前東京駐劄ソヴイエト大使で現在ワシントン駐劄大使アレキサンダー・トロヤノフスキー氏は二十二日午後ソヴイエト政府の外交方針に關し

今日世界はデモクラシーとフアッシズムの對立をもつて特徵として居るが、デモクラシーは動もすれば「フアッシズム」に押され氣味である、將來萬一「不完全なデモクラシー」と「完全なフアッシズム」との鬪爭が惹起するならば、ソヴイエト聯邦は全力を擧げてデモクラシーを擁護しよう、ソヴイエト聯邦の政策に關し疑ひを差し挾む連中が少くないが、ソヴイエト聯邦は世界平和の確立を念願と我々の軍備は平和維持を目的とすることをこれ等の懷疑論者に對し强調したい云々

の奇怪極まる聲明を發した、この聲明が何を目的とした宣傳であるかは一寸見透し難いが、最近ソ聯當局は米國トイ會社に十六時砲搭載主力艦二隻を註文したことおよび、サンデイニゴ軍港にあるコンソリデイツド航空機製作會社に大型新銳海軍水上艇の製作契約をなした等々の事實が漏洩した爲め平和主義の假面をかむれるソ聯の積極的赤化軍國主義の正體とからくりが遺憾ながら暴露され、ソ聯の世界赤化攪亂策に對する世界各國の注意を新たに喚起するに至つたゝめこれが漏洩を苦慮してゐたといふ事實があるのに徵し、該トロヤノフスキー大使の聲明はこの空氣をもみ消さんために發せられた姑息的隱蔽聲明とみられる

□

この聲明においてソ聯がデモクラシーの陣營に立つものであることを强調したことはコミンテルンの政策＝世界赤化の第一階梯政策たる世界のそれぞれの國家における國民心情の二大分裂を企て、もつて內戰に誘導せしめんとする人民戰線戰略と緊密に結びついてゐることを立證するものである、ソ聯が如何にデモクラシー擁護論を振翳してもまた世界平和の維持を强辯してみてもソ聯とコミンテルンとの關係が絕縁されない限りソ聯が共產主義の理論と政策を放棄したものと思ふものは一人もあるまい、と同時に世界赤化を最終の目的としてゐる世界攪亂國家の本體であることに間違ひはないのである

□

ソ聯がフアッシズムをおそろしく恐怖してゐるのは世界の個々の國々の國民が確固たる國民意識によつて堅く團結し國家破壞の外來思想に對し完全なる思想防壁をめぐらした曉には世界赤化の過激思想を潛入せしめる間隙がなくなることの必然性を知つてゐるからである。これがためにソ聯は「不完全なるデモクラシー」國家を愛するものである、それはやがてよき自己の餌食だからである

帝國を繞る列國海軍の情勢
海軍のパンフレット內容

【東京國通】海軍では來る五月廿七日の無條約第一年の海軍記念日に際し「無條約時代と我が海軍」なるパンフレット十二萬部を作成、全國に配布するが、右パンフレット中の「帝國を繞る列國海軍の情勢」において、左の如く英米ソ三國海軍に關し詳述し、我が海軍々備の一日も忽がせに出來ぬ所以を明確にしてゐる

一、最近五ヶ年間における英米兩國の海軍費の膨脹は左の如くである（英國の括弧內は空軍費、米國は海軍空軍費を含む）

	米國（百萬弗）	英國（百萬磅）
昭和八年	[illegible]	[illegible]
同九年	[illegible]	[illegible]
同十年	[illegible]	[illegible]
同十一年	[illegible]	[illegible]
同十二年	[illegible]	[illegible]

（米國の十二年度分は衡業復興費前年度繰越を加ふ）

一、米國—世界一の大海軍建設を目標とする米國海軍は昭和六年以後に起工し昭和十五年までに竣工すべき艦艇は、大正五年—昭和四年の計畫の殘部、昭和八年の復興費計畫及び昭和九年のヴインソン（昭和十一年以後の計畫を含まず）を合して總噸數約四十五萬噸、百五十四隻に達し、總經費十一億五千八百萬弗、その艦船の內容は航空母艦四、甲巡一五、乙巡九、驅逐艦八五、潛水艦三四、砲艦二を含んでゐる、なほこのほか本年度には主力艦二隻（各三萬五千噸）が起工されることになつてゐるさらに太平洋の軍港要港防備の强化就中ハワイ眞珠港の施設擴充、渡洋自由なる大浮ドック建造等あり、しかも現在千三百機の海軍機は昭和十四年までには千九百機に增大され、同時に陸軍は昭和十五年までには二千三百機に充實される豫定である

一、英國—英國海軍は昭和六年以後昨年までに航空母艦一、乙巡一九、驅逐艦九四潛水艦二〇、合計九四隻、廿六萬噸を起工したが、無條約第一年の本年からは五ヶ年計畫十五億磅を以て再軍備計畫をたて急速に大擴充を行ひ海上王國の地位を確保するものと見られる本年の起工は主力艦五、巡洋艦一四、航空母艦四、驅逐艦三四、潛水艦一五、其他合計實に百隻以上に達してゐる英國は東洋に對して傳統的に强烈な關心を有つてゐるが、最近東洋方面に對する海軍兵力の配備および沿岸の防備は益々强化されつゝある、すなはち常に最新銳の新造艦艇を東洋に派遣して居り、現に航母一、甲巡八、驅逐艦一九、潛水艦一五が支那、東印度、濠洲および新西蘭の各艦隊に配備されてゐるまたジブラルタル、マルタ、スエズ、セイロン、ペナン、シンガポール、香港等の防備を完備强化して、歐亞の連絡を確保し、特にその重心たるシンガポールには巨費を投じて飛行場、五萬噸の浮船渠と乾船渠、大なる燃料補給施設等の諸施設を完成し要塞を完備して鐵に世界無比の大前進根據地を創り上げてゐる、また空軍擴張も頗る大規模で差當り昭和十三年三月までに四千機常備を目標としてゐると報ぜられてゐる

一、ソ國—現在ソ聯邦の極東海上には六十隻を超ゆる潛水艦、十數隻の驅逐艦、百隻に近い水雷艇が新造配備され、ウラジオを中心として沿岸は堅固な要塞をもつて防備されてゐると傳へられてゐる、また印度洋經由の歐亞連絡航路の半程に過ぎない北氷洋經由の歐亞連絡航路は、すでに一昨年の試航に成功、最近では一萬噸の大型大馬力の碎氷艦が建造された點から考へ冬期でない限りバルチック艦隊と極東艦隊とが隨時合同をし得るやうになつて來てゐる

馬糞驅逐新案懸賞募集

國都の惱みである一日四萬五千貫の馬糞を放亂せしめず如何にしたら驅逐することが出來るか名案を一般から懸賞募集するその要項は左の通り奮つて應募ありたい

▲應募條件

イ、馬糞を道路に落さざる考案なること、但し其都度馬夫の手を要することなく固定的なるを要す

ロ、案は說明書、略圖雛型を添附すること

ハ、最も實行可能輕便簡易にして實用的價値あるもの

ニ、馬の兩性共使用し得るもの

一、應募せる案は一切返却せず後日特許權を生じたる時は主催者の所有とし採用實施したるものには副賞として相當額を贈る

▲賞金 一等、百圓、但し採用の上實施したる時は副賞を呈す、二等五十圓、三等、二十圓

▲期間 〆切、六月十五日、當籤發表、七月下旬

▲審査者 主催者後援者の會議

▲送先、新京日日新聞社懸賞係嚴封の上（懸賞應募）と記すこと開封は審査當日とす

主催 新京日日新聞社

後援 新京警察署、首都警察廳、新京特別市公署、滿鐵新京事務局地方課、首都乘用馬車人力車組合

專賣總署が
燐寸レッテル廣告取扱實施

專賣總署では今回硫化燐燐寸及び小安全燐寸に貼付するレッテル利用の廣告取扱ひを次の要領で實施することに決定した

一、廣告手數料 一箱（二、四〇〇個）二圓四〇錢（官公署のものは半額）

二、廣告方法 廣告レッテルを專賣燐寸に貼付し政府の手で販賣頒布する

三、廣告レッテル 所定の寸法で廣告主が作成し專賣署に納付すること

四、受付箇所、新京、哈爾濱、齊々哈爾、吉林、奉天、安東、營口各專賣署、滿洲國專賣石油類大連取扱事務所

五、廣告レッテル圖案にして公序良俗に反するもの、一般に不快の念を與へるもの等は取扱はない

なほ今回新に實施される燐寸廣告は從來申込者においてレッテルを作製し製品を全部買つて自らこれを頒布せねばならなかつたのと異り、廣告主においてレッテルを作製し、これに手數料を添へて申込さへすれば專賣署においてレッテルを貼付の上賣捌頒布をするものであつて、料金の點も他の廣告方法に比し低廉であり、かつこれまで鐵道沿線を離れ奧地に宣傳または廣告せんと企圖しながらも適切な方法なく宣傳工作に困難を感じてゐた官公署は勿論一般廣告主は右により如何なる僻地にまでも頒布出來、匪賊の輩にもこれが徹底を期し得られる譯である

日曹新株の未拂込金を徵收

【東京國通】日本曹達では軍需インフレ景氣の波に乘つて積極的に化學工業の多角經營に進出せるを機會に新株の未拂込金を徵收すべく首腦部間に計畫されてゐたが廿四日重役會を開いて未拂込金徵收を決定した、しかして拂込完了後資本金二千八百八十四萬圓を一躍八千萬圓に增資することになり、來る五月廿三、四日頃臨時總會を開いて附議することになつた、拂込ならびに增資の方法は左の通りである

一、七月一日を期して未拂込金一千卅八萬圓（新株中卅萬株に對し一株につき廿五圓および七萬六千八百株に對しては一株につき卅七圓五十錢）を徵收する

一、拂込完了後資本金を八千萬圓に增資する

一、八月一日現在の株主に一對一の比率で增資株を割當てるものとす（この株數五十七萬六千八百株）

一、殘額四十四萬六千四百株の處分方法は取締役會に一任

一、增資新株の拂込期日は九月一日とし第一回拂込金は四分の一とする

なほ增資による新資金は事業擴張資金ならびに借入金の返還に充當する筈である

商況欄（四月二十六日）後場

●上海標金 前引 二三三、二

●上海爲替 日本向 第一回賣 一〇〇四、八七五 第一回買 一〇〇五、一二五

倫敦向 第一回賣 一志二片一八分一 第一回賣 一志二片一六分五

紐育向 第一回買 二九弗一六分三 八分七

株式相場

大連株式（短期）寄 引

銘柄	寄	引
五品	一七、四〇	—
豆新	三三、四〇	—
滿新	一三六、九〇	—
同新	六二、〇〇	—
日産新	四〇、一〇	—
鐘新	八六、一〇	—

奉天株式（短期）寄 引

銘柄	寄	引
滿取	一三、四〇	—
東新	一三八、九〇	—
日産	八七、五〇	—
鐘新	六五、〇〇	—
五品新	一七、四〇	—
豆新	三一、一〇	—
滿鐵	六三、一〇	—
同新	—	—
電中	三一、〇〇	—
滿毛	—	—
日魯	—	—

新京取引市況（四月二十六日後場）

現物（一石値段）

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	
高粱	—	—	
米高粱	—	—	
吉豆	—	—	
小豆	—	—	
玉蜀黍	—	—	
四月限	七、〇八	七、一〇	三〇車
五月限	七、一六	七、一八	一〇九車
高粱	—	—	
三月限	—	—	
四月限	—	—	
五月限	—	—	
六月限	—	—	

手形交換高（廿六）

國幣 [illegible]

鮮魚小賣相場

百匁に付（廿六日）

品名	最高	最低
活鯛	一六五	九五
氷鯛	六六	五四
中小鯛	六六	二四
チコ鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
アマ鯛	[illegible]	[illegible]
エビ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
マス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
鯖	[illegible]	[illegible]
赤ムツ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
鰡	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
紋甲イカ	[illegible]	[illegible]
小イカ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
星カレイ	[illegible]	[illegible]
目高カレイ	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
鰯	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
白魚	[illegible]	[illegible]
鮑	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
帆立貝	[illegible]	[illegible]
赤貝	[illegible]	[illegible]
蜆	[illegible]	[illegible]
蛤	[illegible]	[illegible]
オバ	[illegible]	[illegible]
ムキミ貝	[illegible]	[illegible]

天氣と氣溫

けふの天氣 北西の風晴一時曇り

日の出 前五時三八分

日の入 後七時三六分

月の出 後九時二六分

月の入 前六時四分

きのふ 氣溫 最高 一〇度二 最低 三度八

満鮮の經濟的相關に 多獅島の大寫し 期待される大築港計畫

未開の寶庫東邊道の鑛產資源開發が滿洲國、滿鐵等によつて着々と進捗し、加ふるに待望の東邊道產業鐵道が極めて最短期間內に實現する運びとなり、今や何億とも知れぬ地面資源開發期は目のあたりに迫つてゐる、ここ東邊道を背後地とし、西北朝鮮が誇る唯一の不凍港多獅島が近時とみにその重要性の再認識を叫ばれつゝある折も折滿鮮經濟提携に深き關心を持つ松岡滿鐵總裁が過日親しく築港狀況を視察したことによつて、多獅島は滿鮮經濟提携史上に颯爽と乘り出して來たのだ

多獅島（大多獅島ともいふ）は東徑百二十四度二十六分、北緯三十九度四十七分四十一秒に位してゐる無人島でその面積は二十餘町步である 多獅島より北方二粁半に小多獅島があり、小多獅島と平安北道龍川郡郭患角の距離は約三百米であつたが、現在はこの間は埋立てゝ陸續きとなつてゐる、本築港の必要性ともいふべき諸條件は

一、鴨綠江流域六萬二千六百平方粁にわたる豐富な背後地を有すること

一、滿鮮經濟接壤地たる安東新義州から陸路卅八粁、海路四十八粁の近距離にあること

一、十二月から三月に至る嚴多の間の風向きが殆ど北々東のため流氷が錨地（大多獅島南岸）の西方を流れ沖合中洲方面に多動して不凍であること

等が擧げられ、これを完全な港灣とすべき工事は四ヶ年繼續事業、昨年九月着工し昭和十五年工事完成の豫定で、現在までに百五十萬圓を投じて既に第一期工事たる小多獅島まで巾員十二米、延長四九六米の築堤を終へ小多獅島を鑿平しその周圍を埋築して總面積一七、〇〇〇平方米で、前面沖合に巾十米延長一二〇米の突堤を築造して解船の繫留に便ならしめ近く更に小多獅島から多獅島へ二粁半の大築堤工事にかゝらんとしてゐる

多獅島

附近における水深は最大干潮時においても六米から十一米四の水深があるので、三千噸級から六千噸級の船舶を同時に十隻繫留し得るもので、現在の計畫でな年百萬噸の貨物を吞吐出來るが、これは安東、新義州、龍岩浦三港一ヶ年貿易高三十二萬八千九百四十二噸に比し三倍の能力を持つてゐる譯であるが、奥地產業開發の進捗につれて滿鐵が協力を惜まぬとすれば、恐らく朝鮮總督府の計畫も變更され年四百五十萬噸吞吐の大計畫に引伸されるだらう

この多獅島港と新義州を結ぶ多獅島鐵道は藤原銀次郎氏多田呆吉氏等の肝いりで昭和十年五月に設立された資本金三百萬圓の鐵道會社により目下着々建設中で、昭和十二年末迄に新義州から多獅島錨地間卅八粁の工事を完成すべく工事を急いでゐるが、築港と鐵道の完成により高價な解賃に惱まされてゐる安東の海路貿易は大なる發展が豫想されてゐる

以上の

如く東邊道の鑛產資源をドックとして東邊道—安東—多獅島鐵道—多獅島港と連結する經濟線はこゝ數年を出ずして完全にその形態を表し滿洲國との經濟的相關々係がますます緊密化すべきことは疑ひもない事實で、一日も早く理想的な滿鮮經濟提携の出來得る樣期待されてゐる

吉林市の天長節行事

【吉林國通】來る四月廿九日天長節の佳き日吉林市では駐在皇軍をはじめ各機關を動員居留民會主催の下に盛大なる祝賀式を擧行することゝなつた 即ち當日午前十時より吉林神社において各機關、協和會各分會員參加祝賀式典を行ひ右終了後總領事館にて拜賀式、正午は公會堂で祝宴を張り夜七時からは吉鐵主催で映畫の夕が開かれる筈

吉鐵從事員養成講習會

【吉林國通】昭和十二年度中における吉鐵從事員養成講習會は前年度に引續き本年度は特に質的方面に重きを置き、左の如き各種講習會を行ふ豫定である

△機務處關係　機關士養成講習會

△運輸處關係　滿洲語講習會、站務講習會、車掌、貨物事務、配車司令各講習會

△警務處關係　日本語、巡警養成、特務及び刑事、巡長候補養成、警備犬飼育管理愛護村指導、愛路少年隊指導員養成、傳書鳩飼育管理警備及び警乘等の各講習會

△經理處關係　工事經理事務講習會

△機務處關係　機關車點檢講習會

技術總動員の前奏譜 滿洲技術協會總會 各方面のエキスパート相集ふ

【奉天國通】滿洲產業五ヶ年計畫遂行に伴ふ技術總動員を期待される折柄各方面より注目されてゐる社團法人滿洲技術協會第十三回定時總會は廿五日午前十時より各方面のエキスパートを網羅する會員約百八十餘名出席のもとに、鞍山昭和製鋼所に開催された まづ貝瀨會長の挨拶あつて後

一、昭和十一年度會務並に事業

一、同會計決算

一、昭和十二年度事業計畫

一、同豫算

一、役員の改選

を報告會員の承認を求め滿場異議なくこれを承認、午前十一時總會を終了、引續き矢野昭和製鋼所工務部長の「鞍山重工業の概要」と題する講演を聽取し同十一時卅分午前中の日程を終了した、なほ午后一時より出席者一同昭和製鋼所各工場ならびに住友鋼管、滿洲鑄鋼、その他鞍山各工場を視察、午后七時より湯崗子で工業會主催の晚餐會に出席同地一泊、廿六日午前八時同地出發張嶺鑛山視察に赴くことになつてゐる

圖們の車輛工場 建設準備進出

【圖們國通】圖們の車輛工場についてはこのほど奉天鐵道總局建築科より圖們工務段に對し來月上旬早々圖們における工場敷地の地耐力試驗を行ふから援助してほしいとの正式通知があつた、着工日時は決定的に發表されないが、遲くも來月下旬までには着工するものとみられる

龍江縣兎飼育場に アンゴラ種寄贈 —津田鐘紡社長の申出で

【齊々哈爾國通】滿洲國の羊毛增產計畫がいよいよ本腰となつて着手されんとしてゐる際、津田鐘紡社長がこれに一肌脫がうと乘出した明朗トピツクがある

龍江縣公署では農家副業として有望なアンゴラ兎の飼育を計畫奔走してゐた折、人傳にこれを聞いた鐘紡社長津田信吾氏が、それでは俺が寄贈しようと縣當局に自家飼育の同種兎三十頭（價額千五百圓）の提供を申出でたので縣公署は大喜びで受取ることになり差當り豫算二千圓で昂々溪に種兎飼育場を設置、種兎の到着するのを待つて開場することになつた、アンゴラ兎は羊毛代用品として價格、品質共に勝れ、日本でも漸次增產の傾向にあるが、北滿での飼育は最初なのでこの點縣公署でも愼重を期してゐる、なほ同種兎は生殖力旺盛であり二三年後には農村へ無料貸與が出來得る見込で計畫を進めてゐる

宣詔記念美術展

【奉天國通】滿洲國の美術復興を日指す宣詔記念美術展覽會は來る五月二日より七日まで新京、同十二日より一週間奉天において開催されるが、同展覽會は日滿人による東洋畫、西洋畫、書等約七百點が出品されることになり一般愛好家より多大の期待がかけられてゐる

讀者の頁

（投書歡迎 中傷不可）

横柄なる役人風を一掃せよ

大和町人

過日所要あつて滿洲國の某役所に納付金を納めに行つたところ、小錢の無かりしため階下の會計課の窓口で、小錢の交換を申出たるに、（十圓を五圓と一圓に）目の前で小錢を積み重ね乍ら『ありません』と素氣ない一言、當方も大同廣場の端つこ迄態々行つてゐるのだし困惑の果て、今一度『何とかお願出來ませんでせうか』と更に辭を低くして申出たるに『出來ぬと言へば出來ぬのだ』と恰も人を物貰か何かの樣な言葉。

おいあまり莫迦にするなーとグッと腹に來たものゝ詮方もないので苦笑とゝもに引下がつたところ、傍に居つた、これも何か納金に來たらしい滿人が、見るに見兼ねたか『クーガン、クーガン』と言つて所要の金を交換して呉れた。

言葉の解からない滿人までが氣毒に思つて呉れる程の感情と親切氣があるのに、このエライ？小役人の取つた態度は私としては誠に情けなく思つた。

近頃內地でも役人道の再認識の如何に急であるかを、自らが更新せんとする一つの運動すらも起りつゝあると聞いてゐる大阪市のサービス週間なども其の發露であらうと思はれるどうか滿洲のお役人よ！

あなた達だけがお役人としてエライのではない。庶民はあなたに頭を下げるのではない國家があなたに與へた地位に敬意を表してゐるのだ。さすればその地位を自分もよく認識して、時代錯誤的な役人風を吹かすことを、廢めて頂きたい。

役人樣と、庶民はものが違ふと思つてゐる樣なお役人樣も隨分多い樣に見受けられるがそんなお役人樣よ！

まずあなたの頭から『クーガン、クーガン』してほしい。

協和會奉天市本部で 雄辯大會開催

【奉天國通】協和會奉天市本部では來る五月一日夜滿鐵記念會館において各分會代表青年雄辯大會を開催、非常時局に處すべき青年の覺悟、その他に關し日滿青年辯士十三名が熱辯を振ふことゝなつた

圖們街民の 納稅成績其だ不良

【圖們國通】街公署では圖們市民の納稅成績の不良に全く憂鬱になつてゐる、即ち昨年度の調定納稅五千四百圓の分が、今年すでに四月も終らうとするのに僅か二千圓しか納まらぬ有樣である、これは市民が民會時代の戶別訪問集金の習慣を喜んでゐるためで、街では原則として市民が公署の窓口に納入すべきものとしてゐるが、この調子では吏員の街頭進出をやらねばなるまいかと思案してゐる

海外ニュース

戴冠式拜觀 僞切符

【ロンドン國通】英帝戴冠式鹵簿御通過の沿道には既に英國土木省の拜觀スタンドが殆んど完成、スタンドの入場券も無蓋席十五シリング、有蓋席二十二シリング半の二種が發賣され飛ぶような賣行き、當日近くにはプレミアムが附くこと必定といふ大人氣であるが、早くも僞切符がロンドン市中に現はれ警察當局を惱ましてゐる、土木省から多數の切符を預つたコーンス協會では早速會員にこれを配布したが、早くも同協會發行切符の中に僞切符が發見されたといふ譯だ、協會では每年ウインブルドンの庭球大會切符に僞切符が出るのが常となつてゐるので、この僞切符は贋造常習者がやつたものと見て僞切符をスコットランドヤードに送り犯人を嚴探中である、若しこの僞切符が大量市內に現れたら、當日混亂を引き起すことになるので警察では僞切符發見に大童である

記錄的豪華饗宴

【ケンブリッチ國通】來るべき英帝戴冠式の大饗宴には恐らく廿世紀英國の美味の粹を集めた料理が出されるだらうとその邊の食通達を羨ましてゐるが、米國のハーヴァード大學のワイドナー圖書館の秘藏する古代の料理本によると、今から約五年前一四六八年二人の英國政治家の主催でロンドンで開かれた大晚餐會こそは前後未曾有と言ふべき程豐澤且つ大掛りなもので、少くとも量の點では今度の戴冠式饗宴も遙かに及ぶまいと言はれる すなはちこの一夜の宴會で見るお客の腹中に納つた料理は

一、牛豚　六千頭

一、鳥　三萬一千羽

一、魚　五百尾

一、ゼリー　六千個

一、カスタード　六千個

一、パイ　一千個

一、葡萄酒　四百樽

といふトテツもないもの、當夜の宴會が數千の人を集め如何に盛大であつたか、これだけで充分想像がつく

戴冠式當日の 臨時食堂

【ロンドン國通】五月十二日戴冠式鹵簿拜觀に集る拜觀者の數はざつと百萬と見積られるが、英國政府では卅五の臨時食堂と十二の大天幕張り食堂を設け、千二百名の男女給仕が拜觀者に食事を供給することになつた、土木省ではこの食堂の定價表を發表暴利を取締つてゐるが、紅茶一ぱい三ペンスといふ安價さである これ等の食堂はハイドパーク、セント・ジェームス・パーク、グリーン・パーク、議事堂廣場、エンバークメント等に設けられ、前日の午後六時より當日の午後十二時まで開かれる筈である、又一シリング半の戴冠式特別切手が發賣されてゐるが、これはジョージ六世とエリザベス皇后の御肖像が入つてゐる

王樣が代れば 御料理人も代る

【ロンドン國通】王樣と雖も人間のこと夫々御趣味、生活の異なれるのも寔に無理からぬ次第であるが、御兄弟とは云へ前帝エドワード八世と新帝ジョージ六世とは御食事でも御趣味が違ふと見え、昨年十月エドワード八世によつて召抱へられた大膳頭ルグロ氏は三月卅一日限りで御暇となり四月一日からはブッパール氏が新たに大膳頭に就任することとなつた、ルグロ氏、ブッパール氏といひ何れもフランス人で、流石料理はフランスの名に恥ぢぬ大した料理法の名人である、ブッパール氏は先に崩御されたジ五世の大膳頭を長く勤めジョージ五世の寵遇を受けてゐたもので、新帝も御父君當時の御料理がなつかしいと云ふ譯でもあらう、從つて晴れの戴冠式の御盛儀に續く大晚餐會にはブッパール氏が筆頭コックとしてその板前の冴えを示すことゝならう

全英歡喜に湧く ジョージ六世戴冠式
古典に則る數々の御儀

英皇室の盛儀ジョージ六世陛下の戴冠式もいよいよあと二旬を餘すのみとなつたが、當日行はれる數々の御儀式ならびに鹵簿は次の通りである

聖油灌涵の儀

英帝ジョージ六世及びエリザベス皇后が五月十二日ウエストミンスター・アベイで行はせられる御儀は二個の段階に分れる

すなはち最初は教會の首座として聖油灌涵の儀（塗油式）があり、次いで國家の元首として戴冠式がある

皇帝は宗俗兩界の長として二身一體であり、皇后もこれに準ずるのでこの二重の儀式が取り行はれるのである

塗油式は最も古典的なものだが、それに用ひられる塗油、ホリー・オイル、特にクリスムと呼ばれる）は皇帝皇后の鹵簿がバッキンガム宮殿よりウエストミンスター・アベイに到着する迄は古色ゆかしい金瓶（アムプユラ）に盛つて式場の祭壇に供へる、皇帝皇后の第三鹵簿到着は午前十時五十五分だが、その時ハイド・パークよりは廿一發、ロンドン塔からは四十一發の禮砲を放ちいよいよ莊嚴な儀式に入る

ことを示す、院內では諸員奉迎聖樂隊の唱ふ聖歌の裡に皇帝皇后は式場に着席、これに先立ち英國皇族、列國代表も夫々設けの席に着いてお待ち申上げてゐる

その時カンタベリー大僧正は六人の仕官を從へて御前に進み、參列の教會諸員を皇帝に紹介する

諸員の皇帝に對する宣誓式あつた後「ゴッド・セイヴ・ゼ・キング・ジョージ」の齊唱あり更に皇帝の宣誓式あつて後「ザドク・ゼ・プリースト」の聖歌齊唱裡に皇帝はダーハムおよびウエルスの三僧正に助けられて祭壇に進み、大僧正の捧持する聖書に右手を置いて

「神明の加護を冀ふ」と御誓言、キング・エドワードの即位式椅子に着席される迄でウエストミンスター管長が祭壇に供へた金瓶よりスプーンで聖油を掬つて差出せばカンタベリー大僧正はこれに指を浸して皇帝の御頭、御胸兩掌に十字を切る、これが塗油の儀であり、これで皇帝は神の御眼の前に聖なる君長となられたのである、次いで皇帝の戴冠式あつた後、同様の順序で皇后の塗油、戴冠式に移るのである

莊嚴！戴冠の儀

ウエストミンスター・アベイにおいて皇帝ジョージ六世に對する塗油の儀が終れば、次いでいよいよ「地上の王者」として戴冠の儀に入る、華麗莊嚴の極致を行くもので、まづ皇帝は御席セント・エドワード即位の椅子より立ちウエストミンスター管長の助けで次々と禮袍を着られる、袖無きガーメント、コロビウム・シンドニス、次いで袖先の細長いスウベルチニカこれは英蘭、スコットランド、愛蘭を象徴してピンクの薔薇、紫のグリーヴアーで縁取つた金色燦たる禮服である、それから帶劍の儀に入る、皇帝はカンタベリー大僧正の捧げる寶劍を受けられるがこれは國軍の首長を象徴するものである

大僧正は「この劍を以て正義を行ひ不義不正を制し神の教會を保護し、寡孤獨を擁護し廢れたるものを恢興せるものを維持し善美の秩序を鞏固ならしめよ、帝王の德こゝに全きを得ん」と訓告する、寶劍は一旦祭壇に置き百シリングの對價をもつて「贖う」た後祭壇よりおろし、式部長官（グレート・チエンバレン）が拔身のまゝ式中捧持する

皇帝着衣の儀は更に本格的に進む、ウエストミンスター管長は誠心と眞實の象徴アーミル袍を進めた後最後の外袍（ボール）を皇帝の御肩に蔽ひまゐらせる、金緞、金綬目まばゆきばかりの豪華帝服である、これで着衣式は終りついで着飾式である、大僧正は宇宙の象徴寶球（オーブ）を、次いで紅寶石指輪を捧げる

指輪は皇帝と國民との「結婚」を意味するのだが皇帝はそれを右手の第四指に嵌められる

更に王權及び正義の喪章である十字笏（ゼプター・オヴ・ゼ・クロス）を右手に、慈悲と平和の象徴である鳩章笏（ゼプター・オヴ・ゼ・ドーヴ）を左手に持ち、これを以て最後の段階戴冠の式に入る、正に嚴蕭絶頂であり廣き院內寂として聲なく森として響なく唯微かに錦裳綾衣の小縲れを聞くばかり、皇帝が二つの笏を持たれたまゝセント・エドワードの椅子に坐はられるとカンタベリー大僧正はウエストミンスター管長が祭壇より取り卸したセント・エドワード王冠を兩手に捧持し「神よ王冠を戴かしめ給ふ」云々と唱へつゝ靜かにこれを皇帝の頭上に戴かせる、この時太鼓とラッパのファンファール嚴そかに場內に響きわたる、參列貴族が手にした各自の冠をいたゞき諸員は一齊に國歌「ゴッド・セーヴ・ゼ・キング」を唱和すれば、外ではハイド・パークおよびロンドン塔から禮砲殷々として響き祝聲全英國に轟く、大僧正は進んで

神は榮光を正義の冠を戴かしめ給へり、確乎たる信仰と諸多の善行をもつて永久にこの王國を統治せられよと宣し、聖樂隊はさらに「神の皆によりて王道を進め」聖歌を唱へる、續いて聖書に基き戴冠の宣誓あり、皇帝は大僧正、僧正、貴族に援けられて「玉座」に即かせられる、これで登極の儀は終り、大僧正、皇族、貴族の順で參列、諸員は御前に膝まづき臣事を表する

かくて諸式滯りなく行はれ、こゝに皇帝の戴冠式は終り再び太鼓、ラッパのファンファアールの裡に「ゴッド・セーヴ・ゼ・キング・ジョージ」を齊唱終つて今度はエリザベス皇后の塗油式、戴冠式、登極式が行はれ、最後に莊嚴な聖餐式あり、これをもつてウエストミンスター・アベイにおける一切の式が終幕するのである

聖餐式と更衣

戴冠式當日ウエストミンスター・アベイにおいて塗油戴冠の儀を終へさせられた英國皇帝ジョージ六世及びエリザベス皇后には院內最後の儀として聖餐式を擧げられる

先づ皇帝、皇后が笏や冠を脱いで御待ち遊ばされる裡に二人の僧正はセント・エドワード院より「麵麭と葡萄酒」を取り運び大僧正に渡せば大僧正はこれを祭壇に獻げる、皇帝及び皇后は交々祭壇に跪いて大僧正より麵麭を、ウエストミンスター・アベイ管長より葡萄酒を受けさせられる

これで聖餐式を終了、皇帝皇后とは再び冠を戴き、笏を手にとつて御座につかれる、かくて諸式終了、兩陛下は祭壇裏の「更衣室」に入つて戴冠式服を紫色鳶絨の服に、セント・エドワード冠を通常王冠に改められる

かくて御歸還の準備終り、聖歌齊唱裡にまづ皇后、ついで皇帝の順でアベイの西玄關よりバッキンガム宮殿に御歸還あらせられる

禮砲轟き渡る中を 戴冠式の鹵簿

戴冠式當日の五月十二日、曉の靜寂を破つて午前三時四十五分、ハイドパークより廿一發、ロンドン塔より四十一發の禮砲が放たれゝば前夜より公式鹵簿の道筋を埋めつくした市民拜觀者は一齊に緊張するこの時既にバッキンガム宮殿內では色々と御式の準備が

首相、外相等各國使節、自治領代表

第二鹵簿は英國皇族閣員

第三鹵簿は英國皇帝皇后である、わが秩父宮、同妃兩殿下には第一鹵簿に入らせられるが外國君主中この盛儀に列席する者は七名、其他回教君主六名、皇太子皇子、同妃等皇族は全體で十四名に上る筈である、鹵簿の順序はまづ午前九時卅分先驅及び儀仗隊を先頭に第一鹵簿がバッキンガム宮殿を出發、秩父宮、同妃兩殿下をはじめ奉り各國皇族方は四頭立儀裝馬車に威儀堂々と進まれる、米國代表ゼラード氏、パーシング將軍、フランス代表デルボス外相、ソヴエート代表リトヴイノフ外務人民委員、ドイツ代表ブロンベルグ國防相、ポーランド代表ベック外相等々歐米政界の巨星が綺羅星の如くこれに續く第二鹵簿にはグロスター公ケント公その他英國皇室の御方々ならびにボールドウイン首相初め英國閣僚諸公の顔が見える第二鹵簿が出發して卅分後愈よ第三鹵簿がバッキンガム宮殿出門、この時再びハイドパークおよびロンドン塔の二ケ所より夫々廿一發および四十一發の禮砲を放ち殷々たる砲聲全市に響きわたる

第三鹵簿の先頭には兩陛下側近の侍醫が分乘する儀裝馬車進み、これに續いて皇帝の諸幕僚、侍從武官等騎馬で前驅し、次で陸海軍各部隊の代表等威儀を正して進む

鹵簿の中央、儀仗騎兵の一團に前後を護られて、金色燦爛たる八頭立の玉車に打乘られた式服の御方が皇帝、皇后、御車の直後には皇帝旗燦として隨ふ

鹵簿がバッキンガム宮を出門すると先づ宮殿の突當り廣場前ヴイクトリア女皇記念碑左右には黄色に輝く特別拜觀席があり、上下兩院議員、樞密院議員が正裝に肅然として居並ぶ、鹵簿はその送迎を受けて肅々と通過、セント・ジエームス公園を右にセント・ゼームス宮を左に見て並木道ザ・マルに差掛る、ザ・マルの兩側には各種の色も彩かな拜觀席が設けられ樞密院議員、宮內省々員、外交團員等が居並んでゐる、鹵簿は海軍省を右にザ・マルのはづれアドミラルテイ凱旋門を潜つてトラフアルガル・スクエヤーを一巡政府官衙の立並ぶホワイト・ホールを通過してパーラメント廣場から式場ウエストミンスター・アベイに到着するが第三鹵簿の到着するのが午前十時五十五分、皇帝および皇后は聖歌の齊唱に迎へられて靜かに院內に進ませられ、こゝに塗油、戴冠の儀を濟まされた後、歸途はコースを變更テームス河畔ヴイクトリア・エンバンクメントを通り、左に折れてノーザンバーランド・アヴエニーから再びトラフアルガル廣場を横切り、ポールモールからセント・ジエームス街、ピカデイリー、リージエント街、オクスフオード街を經てマーブル凱旋門から左に折れてハイド・パーク街を通りコンステイテユーシヨンヒルからバッキンガム宮に還御されるのである

この復路の御路筋はロンドン目拔きの街路とて、各商店住宅思ひ思ひの意匠を凝らして奉祝の誠意を披瀝するわけだ、往路の道のり一、二五哩復路の道のり蜿蜒四、七五哩で、沿道全長六哩は將に歷代戴冠式のレコードである（完）

連載漫畫【44】漫畫大明神　田河水泡

オイ見習ひ この原稿調べてくれ

駄目だよ こつちも忙しいんだ

オイ見習ひ タバコ買つて來てくれ

やだよ 多忙だよ

オイ わしぢや給仕がおらんので困るんぢや

そんなら もう一人給仕をおいたらいいでせう

コラッ 我輩がわからんかッ

ウヘーッ 買つて來ます 買つて來ます

アルプス山頂で 伊太利スキー部隊の演習

（寫眞は今冬アルプス山頂附近に於て伊太利自慢のスキー部隊が强行演習を行つた）

季節料理
天長節を迎へる 農村向のお獻立

國民こぞつて祝ひ壽ぐ天長節も間近になりました。殊に非常時の聲の高いこの頃、この佳き日を心よりお慶び申上げますために農村向のお獻立を御參考に申上げませう。農村は申すまでもなく祖國の力でございます。そして食物はその農村の方々の健康を保つ原動力としてゆるがせにならぬ問題でございます。

これは極く簡單な料理法でどこにもある材料をとり合せ祝意をこめたものでございます。

お料理法としては

一、萬代赤飯

二、お吸物（太平錦玉子、雲井素麵、菊水茸）

三、お口取（千代の松笠、八千代卷、さゞれ羹）

以上三品を申上げませう。

一、萬代赤飯

材料（五人前）精米（六合五勺）小豆（一合）鹽、胡麻（少々）

小豆はかためにゆでゝからお米に入れて炊きます。

二、お吸物（太平錦玉子、雲井素麵、菊水茸）

材料（五人前）鷄卵（一ケ）糸素麵（小把一把）椎茸（中位五ケ）煮出汁（四合）鹽、醬油（少々）

お碗に玉子を薄燒として細長く切つたものと椎茸を鹽味で煮たものと香味を入れお汁の味をつけてかけます。

三、お口取（千代の松笠、八千代卷、さゞれ羹）

材料（五人前）干柿（小粒五個）鷄卵（五ケ）

さゞれ羹のために寒天（半本）小豆（一合五勺）砂糖（五十匁）甘諸（小一ケ）鹽（少々）

外に、砂糖、酒、食鹽、醬油

干柿は二三日砂糖と酒につけ玉子は二分厚に燒いて卷いて切り、寒天は水につけ煮とかし砂糖を入れ小豆を入れかためて切ります。

けふの番組
（M・T・D・Y 新京放送局）廿七日（火曜日）

（朝）

六・三〇 ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）

六・五〇 中等滿洲語講座 講師 秩父固太郎（大連）

七・一五 朝の音樂

七・四五 建國體操（大連）

八・〇〇 氣象通報（東京）

九・三〇 經濟市況（大連）

一〇・〇〇 家庭講座（大連） 青年と結核 大連醫院副院長 村上純一

一〇・三〇 料理獻立 家庭メモ

一〇・四〇 經濟市況（大連、新京）

一〇・五〇 經濟市況（東京）

一一・三五 經濟市況（大連）

一一・四〇 經濟市況（東京）

一一・五九 時報（東京）

（晝）

〇・〇五 晝の演藝（奉天）

〇・四〇 ニュース（東京、新京）

一・〇〇 經濟市況（大連、新京）

三・〇〇 經濟市況（大連、新京）

四・〇〇 ニュース（東京、新京）

四・三〇 經濟市況（大連、新京）

五・二〇 ニュース（鮮語） ピアノ獨奏

（夜）

一、優雅なる行進曲 朴勝百

二、ボルテイニー作曲 ソナタ

三、ベートーヴエン作曲 ロンドカプリチオ メンデルスゾーン作曲

六・〇〇 子供の時間（大連） 童謠とお話 岩崎昌子 (イ)十五夜お月さん (ロ)からたちの花

小唄と俗曲
後一〇時 新京より

扇芳亭の鶯トリオ

(一)小唄……笑香

待つ夜重ねて

まつ夜かさねて月影もいつしかほそる戀のやせをとこ心のつれなさに逢へぬもつれを糸萩にいつ消ゆるとも白露の乾くひまなき雨の袖

緋ざくら

緋ざくらや太夫櫻や江戸櫻うかれて通ふ助六が印籠一つまえ濡れてぬる夜はなア雨の三の輪か辻うら茶屋かきせるの雨が降るは降るはとやに下り

地廻り

地まはりは肩に手ぬぐひ座の下駄まはらんせ格子さき仇ないたこをうたはんせ今よひはばけてあがらんせうちの首尾

……笑香さん……

東京無線

七・〇〇 ニュース（東京）

(ハ)お山のお猿 ピアノ伴奏 莊和子 解說 鹿島鳴秋

六・二〇 コドモの新聞（東京） 講屋 五十二

六・二五 名著解說講座（大連） 著名なる英語辭書 大連圖書館司書係主任 大佐三四五

七・〇〇 ニュース（東京）

ニュース、告知事項、番組豫告（新京）

七・三〇 俚謠（東京） 岡本新內 ―秋田縣横手町― 唄 一寸平 外 （仙臺）相馬あいや節 大越一聲 外

八・〇〇 世界音樂地理「第三回」（東京） ラヂオ風景 獨逸の旅 秦豐吉作 夫 藤尾純 妻 巽壽美子 外大ぜい 獨唱 波岡惣一郎 獨唱 澄川久 合唱 園御幸 日劇混聲合唱團 管絃樂 ラヂオシテイオーケストラ

八・二五 浪花節（大阪） 瞼の母 酒井雲

九・〇〇 物語（東京） 少年街の勇士 竹田敏彥作 藤村秋夫

九・三〇 時報、ニュース（東京）、ニュース、告知事項、氣象通報、番組豫告（新京）

一〇・〇〇 小唄と俗曲

(一)小唄 (イ)待つ夜重ねて (ロ)絲ざくら (ハ)地廻り (ホ)やぼな屋敷 唄 笑香 三味線 田村てる蝶

(二)小唄 (イ)うから〳〵 (ロ)散りもせず (ハ)われが住家 外一曲 唄 田村てる蝶 三味線 笑香

(三)俗曲 (イ)白頭節 (ロ)鴨綠江節 (ハ)伊那節 唄 笑丸 三味線 照蝶

一〇・三〇 北滿の時間（哈爾濱）

やぼな屋敷

はどうぢやいなやぼな屋敷の大小すてゝ腰も身輕なまち住ひよい〳〵よいやさ

(二)小唄…田村てる蝶

うから〳〵

うから〳〵と月日たつのに梨のつぶてのさたなしはやみぢやと待つうちにお月様ちよいと出てなむさんばうそばやさん何時ぢやひけぢやえ

散りもせず

散りもせず咲きものこらぬあだざくら春といふのもこゝのことこゝろにとめてわすられぬふりかけられたいわすれ草

われが住家

われがすみ家はかくれ里猫が三味ひく鼠がうたふ小うたのおもしろやこれを思へばやつこらさうはさおもわくきいた舟にのせてかぢを枕に寢てこがれようしよんがえ

……田村てる蝶さん……

(三)俗曲……笑丸

白頭節

一、白頭御山につもりし雪はとけて流れてアリナレの水アーア可愛い乙女の化粧の水

二、奉天城外月三更學良政權今いづこアーア見ずや紅、日の御旗

鴨綠江節

一、しのばるゝ成吉思汗の面影を月の砂漠をながめつゝ駒をとどめてよ勇がよ、月にマアタえがくよ新日本

京の四季

春は花いざ見にごんせ東山色香あらそう夜櫻や浮かれ浮かれて、すいもぶすいも物語り二本さしてもやわらこを、祇園豆腐の二軒茶屋、みそぎぞ夏は打連れて川原に集ふ夕涼ヨイ〳〵〳〵よんやさまくずが原にそよ〳〵と秋はいろ色ますかちよう山、時雨をいとう想ぞ積る丸山に今朝もから傘にわれて紅葉の長樂寺來てみよ雪見酒そしてやぐらのさしむかいヨイ〳〵〳〵よいやさ

……笑丸さん……

新刊紹介

雄辯（五月號）

◇議會の解散は政界に異常な衝動を興へたのはいふまでもないが、一般大衆もこんどの解散には、曾てない不思議な感銘と興味を興へられてゐる特に、現代青年が、その思想的に、また對社會認識の上にこの解散を契機としてうける衝動は、恐らく空前のものといつてよいであらう。◇青年雜誌雄辯が、それを最も濃厚に反映せぬ筈はない。五月號には、まづ永戸政治氏の「總選擧を繞る政局の動向」を載せてゐる。論策陣を覗いて、前哨的任務を帶びさせてゐる。◇論策陣を覗いて、最も讀み應へのあるものは、「亞細亞の世界政策」赤池濃と「ナチス獨逸の興隆と日本精神」松本德明の三篇が興味の上からも對蹠的位置を占めてゐることだ。◇其他では「大東京を裏から覗く座談會」「六大學野球合宿所漫畫訪問記」特輯の「趣味のトピック物語選集」など海軍少將匝瑳胤次氏の旅順閉塞の回顧記事は氏が實際その局に當つた人だけに實のある讀物をなしてゐる。

學藝

杉浦翠子女史の歌集
淺間の表情
稻垣輝安

杉浦翠子女史の近著、「淺間の表情」は前歌集、「朝の呼吸」以後昭和十一年迄の八年間の作品千首以上の中から四百四十餘を嚴選してある。アララギを訣別し獨立不羈の精神で短歌を開拓してから最初の前歌集と比較するとその精神は益々強く伸ばされ、その內容愈々縱橫無盡に豐富にされた事を一見して知ることが出來る。此の事實は女史の眞劍な態度を物語るものである。而もその間、女史の自覺は主知主義短歌に目覺めるや今迄の抱負は凡てこのもとに堅實に建設された。主知的短歌論。寫生主義の結果は繪畫的短歌かの二論文をこの歌集にみる。

概して現歌壇の短歌は、正岡子規の目覺めにより、明治の頭初萬葉に返れのもとに寫生主義を叫んだが、その發展したものの傘下にあるもので、それは子規の「ありのまま詠風」即ち寫生、繪畫的、記述的、日記的、報告的短歌である。それらの短歌は既に排さる可きものであり、すたれゆく運命にあることは現代がその精神に娠んでゐるのであるが、これを身に體して、早く主知的短歌へと自覺したのは女史の大いに意義づけられるものである。であるから、この歌集は全體からみても、從來諸家の歌集の如き、生活記錄的歌集でなく又一個一個の短歌から女史の生活狀態や身邊動靜をうかがほうとするのは無理であり、間違ひであるであるから女史も卷末感想記に言ふ。

「……故にこの歌集からは私の身邊動靜を知ることは出來ませんが、私の呼びかけた社會、私が痛感した人生、つまり私の感情性なるものが主となり、私の身邊動靜は詳しからずとも、私の感情がいかなるものかをこの歌集の歌から認識され得たならば私の本懐であります」と。

女史の言はれる如く、女史の感情がいかなるものかをこの歌集の歌から認識するといふことに主眼をおき「淺間の表情」を紹介しようと思ふ。

大いなる嚝あげてみたく思ひたり陽を背に負ふて暮れゆく淺間よ

陽を背に負ふて暮れてゆく大淺間山、此の大自然の雄大な歡喜の中にあつて、人は何となく心の躍動を覺えてくる作者も然うである。そしてこ

夜や我が犬の遠吠え向ふの村にも響く

向ふの村にも犬ゐるがごとし我が犬の吠ゆるこだまを聽き返しつつ

此等の歌にも作者の情熱が作品の奧に潛くたたへられてゐるのを知るのである。表現が悉く現代的字句を以てなされ讀者の感性に新鮮な響を以てぶつつかつてくる。それは作品の立體性による。而も情の過分性なく、直線的にして構成性に富むのは作品の主知性によるが爲であらう。

裾野とほく地上は夏をみどりの濃淡走る汽車にのみ金屬の光

天地を連絡してゐる淺間嶺の裾をめぐりて村落つづくかういふ詩感と悠久なものに對する人間のあこがれを歌つた作品は前代未聞、而も、これらは新しい時代の感覺の上に打ち立てられた作品であり、成功してゐる。ところが淺野梨鄕氏は、「口數が多くて、おしやべりのやうである詞句が落付きかねて讀んで行き乍ら、作者の感情について ゆかうとどぎまぎして了ふのである。」と短歌研究第五卷

もごもと大野に殘る響きを聽きつつ

上りになる汽車のあえぎを聽きをればここ山麓の起伏のはるけさ

終列車の汽笛のこだま夜を震はし月落ちかたになりてゐるかな

短歌をここまで進步させた作者に感謝しよう。文壇に於てはかういふものは一昔、二昔も前のものであらうが、短歌の文學性がここまで來たことは驚異に價する。

杉浦翠子女史の短歌は難解である。分らないといふ人でも賞讚おく能はずといふ作品があると思ふ、又既成歌人でも一つの示唆を受ける作品があると思ふ、それは

郭公は鳴けども鳴けども山住の吾を呼ぶにはあらざりにけり

汽車の汽笛のこだまと反る晉聞けば蕭蕭として秋に響くよ

などである。

全頁傑作、力作をもつて鏤められてゐるこの歌集の全貌は勿論一部すら紹介出來なかつたのは殘念であるが、これは筆者の無能なことで仕方ない。現論壇の新井格氏は序にかへて女史の全貌を豐富なる眼識を通して正當なる考察をされ紹介されてゐる。新井氏の紹介は女史の實體をも正當に摑んでゐるのでこれを一見すればよい理由である。唯こに社會性を歌はれた作品に對する氏の文章を引用して女史の社會性短歌の紹介にかへさせて戴く。

「彼女の歌に社會觀ともいふべきもの丶著しく刻まれた種類があるが、その社會觀は一つには彼女が物を見る眼の明るさがあるからで、そして一旦瞳に映じた社會實相と生活現象に對する感情は、敢然として吐露せずには止まない熱情があるやうだ。

四、五月の「短歌至上主義」に發表せる「帝都は沈默」を讀めば分ることである社會性に關知なき短歌の風流氣分を鮮明に一擲して、社會性にハッキリと認識することに意味を持たれることは非常な驚きであるとゝもに氏の聰明さを思ふ。これは眞面目にその道を探求して來られた良心的な歸結といふべく歌壇に於けるジイド的轉向である。その社會を歌つた數々の中でも

貧しきは遂に貧しく富みたるはいよいよ富みたり。明治このかたは資本主義經濟の發展を端的に歌つて鋭い。彼女の明るい眼は社會事象に對しては社會觀を明白なる線で打立てるし、生活事相に對しては鋭く寫象して生活的感動を讀者に投與するのである。

職を求めて村より村に移住する鮮人土工の群れゆく信濃路

山村の往來ひそかに見ゆれども移り來て住む鮮人ありけり

これ等の歌は實相を見た儘に歌つたものであるが、それでゐて何れも生活的感動を強くアッピールするものである。

人殖えて足らぬ田畑や天が下といへど限りあるこの國土を

畑つもの盜む人あり法に觸れぬ程のぬすみは數々ある村

共に社會を批評して鋭い警策を偶してゐる「歌壇よりも、文壇人、詩壇人に依り、より正當に理解され、尊敬されてゐる女史である」これは何を物語るか。此の歌集の裝釘は夫君非水氏の手になる。他に隨筆二篇を納む（發行所、藤浪會 定價一圓八十錢）

文化月報の固定
—「文學界」の試み—

雜誌「文學界」では四月號からか、文化月報なる欄を設けて各方面に亘つての月次報告を諸家に書かせてゐる執筆者がめいめいにその好みにしたがつて書いてゐるため必ずしも總括的な報道を期待することは出來ないがそれらの記述から幾らかの便益は受け得られる。殊に海外の文學の動きについての紹介など、教ふるものがある。ただ執筆者の固定が、その取扱ひ範圍を狹隘にし、またその視角を一方的なものにする危險弊害はすでに現はれてゐると思ふ。

一種の同人雜誌として終始するなら兎も角、ひろく一般讀者に向つて呼び掛けるにはこの弊害を除去する手段が必要であらう。（川內堯）

の歌は成功してゐる。驚くべきことは心情を吐露して短歌の形式を離れず、既成短歌の宿命ともなり果てた定型的息氣は全然ないことである。全く現代的健康美をもつ作品である。

月あかるく遠山脈も見ゆる夜を甗に吠えたつる犬の嚝かな

おのれ吠ゆる嚝のこだまに鳴き應へて吠えやまぬ犬を夜半に聽きをり

こだまと思へど氣味わるきり

山かげになりにし汽車のこか殘る陽

條なして見ゆる雨脚の降りとどまる夏草の上は粒粒の露

書きけば蟲の音ほそる畑みち人に踏まれて草もみぢせり

釣船草の花くれないの落す影秋は峽の水をもいろどる

暮れて紺づく高嶺の裾の草山のまだあかるきは何處にか

第十二號で評して（前月歌壇作品評）ゐるのは當を得てゐない。

女と母と（三）
北進一郎

昨夜の深酒が祟つたのかも知れない、酔いにまかせて踊り狂つた兩足は鉛の樣に重かつた。

贈り物などなき樣に、と云ふ德三の手紙の文間があれ以來妙に彼女の頭にこびり着いて離れず、結局は何處何處迄も德三の爲めに惱め拔かれて居るのだ、と想ふと彼に對する新しい濟りが頭をもたげて來るのだつた。

かりに桂一に贈物をしたからと云つて何が惡いのだ德三には感謝されても嫌味を云はれる筈のものではないのにと思ひながらも、彼女の頭には醜い自分の姿が餘りにもはつきりと映し出されるのだつた。さうした自分の幻影を追ひ拂ふ樣に頭を振つて髪をかきむしり、殆んど重病人の樣にベッドに倒れたきり、半日位はまんじりともせず、時折あたりを憚る樣に、桂一、桂一、愛撫する樣に少し云つては、まんまるに肥つた子供の顔を想像するのだつた。

「レイ子さん起きてゐるの」

返事を待つ間もなく白粉焼けのした女の顔が扉を排して覗き込んで居た。

「まあ、獨り寢の淋しさを憐んでるの、私抱て上げるわ」

よしてよ、と云ふ斷りなど頓着なしにさつさと毛布の中にもぐり込んで、

「近頃盛んに惱んでるのね、病氣ぢやない？」靜枝はだまつて答へず、そつぽを向いてしまふのだつた。

「顔色が惡い！あんた屹度やつたのね」

「よしてよ、冗談ぢやない」

桂一の事を考えて居た矢先ではあり靜枝は侮辱された樣にくるりと顔を向けて烈しい憎惡を見せて相手の女を白眼むのだつた。

「まあ、怖い、どうしたのそんな眼して、惡かつたらご免なさい」

素直に謝まられて

「私子供の事考へてるのよ、晴美さん」

「まあ、あんた子供あつたの」

驚いた樣に云ふのを

「私のぢやないわ、姉さんの子供よ、だけど其の姉さんがね私が子供に玩具を送つて上げたいつて手紙を出したら肉の切り賣りで得た金で買つた玩具は子供の教育に惡いから不要ないつてのよ」

晴美は顔を暗くしたきり何も云はなかつた。自分、と云ふものを立派に諦め切つて居る此の女達に比べたら、私などは喰ふや喰はずの境遇から賣られたのでないだけに諦め切れないのだ、と靜枝は思つた

例ひ他人が何と云はうと、せめて親兄弟にだけでも感謝されて居る彼女達は、自分に比べたらはるかに生甲斐があるに相違ない、と思ふと空虚な自分の一日一日の連鎖が耐え得られないものに思はれるのだつた。

「あんたの姉さんいゝわね」

「え」と聞き返す靜枝に

「私の家なんかぢや、着物を送れ、金を送れつて、其れこそ毎月の樣に云つて來るのよ」

「だつて其の方が働き甲斐がありやしないこと」

晴美は呆れた樣に靜枝の顔を見ながら

「私なんか四年や五年で足が洗えないのよ、だつて借金がずんずん重つて行くんだもの其んなの働き甲斐あると思つて？」

二人は云ひ合はせた樣に口を噤んでまつた。午を過ぎた冬の弱い陽の光りが窓に照つて居るのを億劫さうに見やつて居る內に、靜枝はどうにでもなれ、どうせくよくよしたてどうにもなるもんぢやない、と投げやりな氣持になるのだつた。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△經濟金融概況（一・二・三月號）專ら一、二月の通貨及び金融、十一、十二月の貿易調査等を掲載（新京北大街、滿洲中央銀行調査課）

△滿鐵調査月報（四月號）發習善次郎「支那經濟研究の出發點」林田和夫「支那の財政機構と其の運營の特殊性」とともに甚だ學究的なもの、滿鐵ブレーンの健在を示す、ほか海城縣に於ける農村行政組織と其の運營現態、本邦に於ける鹽の不足と供給地の事情、北滿に於ける酒精工業の現狀、滿洲特產概況等の調査がある（南滿洲鐵道株式會社產業部、資料室、五十錢）

△昭和十年滿洲商工要覽 關東州及鐵道附屬地工業生產額、關東州と附屬地の比較、最近の滿洲工業界、各種工業品、生產局、各工場名簿等の諸項に亘る調査を採錄、菊判橫組一一四頁（大連市敷島町八二、大連商工會議所、五十錢）

△健康滿洲（四月號）三浦博士「春が來た早く二重窓を外しませう」大藤博士「塵埃の多い滿洲の春先に是非守らなければならぬ耳鼻咽喉の衛生」前出學士「建築に際して簡單に出來る換氣裝置」滿洲人の長所と短所を語る座談會、家族欄、誌上保健室、小學生作品發表、滿文欄等內容整備し來つた（新京大同大街關東局衛生課內、滿洲結核豫防會、二十五錢）

ホルモンで肌が若返る

ホルモンが直接作用してお顔や肌が若く美しくなる

綜合ホルモン配合で評判のクラブ美身クリームは優秀なクリームでホルモンが皮膚から吸收して榮養となり肌が若返りアレを防ぎます

〔二五セン・三五セン〕
〔四五セン・六五セン〕

ホルモン配合の優秀なクリーム

クラブ美身クリームは專賣特許綜合ホルモンの配合で地肌から若返らせます若さも美しさもホルモンの作用によるものでクラブ美身クリームは若返り効力の強い最良の榮養クリームであります。

肌を保護し清淨にするクリーム

クラブ美身クリームは綜合ホルモンの他に更に皮膚美養料を配合してゐますから肌のアレや日ヤケを防ぎ、又皮膚の殺菌、清淨、美白作用をなし、肌を保護し、ます〳〵美しい健康な肌にします。

純正良質の原料によるクリーム

クラブ美身クリームは優秀なる技術と最良の純正原料とで出來てゐますから皮膚への刺戟が絶對になく、又完全乳化して浸透力強く、質は雪の如く純白でサラ〳〵して決してベトつきません。

肌が若返る

クラブ美身クリームをお使ひになると効力の強い綜合ホルモンが皮膚から吸收されて細胞組織に活力を與へ、小ジワを防ぎ、血色のよい彈力のある肌に若返らせます。これは綜合ホルモン配合のクリームによつて能く出來る事でこの點が普通のクリームと異ひます。尙入浴後や就寢前にクラブ美身クリームでマッサージすれば一層柔肌にします。

アレを防ぐ

クラブ美身クリームは肌のアレをよく防ぎます。それは綜合ホルモンや榮養分が皮膚から吸收されて肌内部に豐富な榮養を補給するからであります。冬の寒冷は肌を乾燥させ榮養不足にしますから表面だけの手當では充分と云へません。クラブ美身クリームをお使ひになればどんな寒さにも冷い水仕事にも肌アレを防ぎ肌の殺菌清淨も兼てします。

よい白粉下

クラブ美身クリームは白粉下としても一番よいクリームであります。アブラ性の方は餘分な脂を調節しますから、白粉が ムラなくよくツキ、しかもお化粧崩れの心配が全然ありません。特にクラブ美身クリームをお顔にのばしその上にコナのクラブはき白粉をサツとつけた流行の健康化粧はホルモンの作用で地肌から美しくなります。

綠化の歌高らかに あす植樹節擧行

春土萠ゆる南嶺の南方に 盛大な苗木の植付け

雨天のため延期となつた本年植樹節は實業部、協和會首都本部、滿鐵新京事務局、特別市公署合作のもとにいよ〳〵廿八日午前十時から更めて南嶺綜合運動場に於て全滿綠化植樹の歌も高らかに盛大に擧行される、式場には日滿顯官協和會各分會員、各種團體、六千名の日滿學校生徒兒童、一般市民等約一萬二千名が參列、空に打上煙花、地に植樹の旗の池、晴れ〴〵しい雰圍氣の中に開式となり、市公署董行政處長の開會の辭に次いで日滿兩國歌合唱裡に日滿國旗を掲揚 實業部大臣式辭、國務總理、關東局總長の祝辭があつて後軍樂隊の吹奏裡に植樹節歌を合唱、協和會吉田事務長の閉式の辭を以て終了するが、式後一萬三千本の苗木は全參列者の手で南嶺兵舍南方の春土に植付けられ意義深い本行事を終了することになつてゐる

バス始發時間 一日から改正

通勤者の便宜を計つて繰上げ

新京交通會社では來月一日から各官廳會社、銀行等の出勤時刻が早くなるので來月一日からバスの始發車時刻も左の通り一時間乃至半時間づゝ早く發車する

▲一號線驛前始發七時、南嶺始發七時二十分
▲二號線國務院ゆき驛前始發六時十八分、國務院始發六時三十七分、金輝路ゆき驛前始發六時十二分、金輝路始發六時三十一分
▲三號線南新京ゆき驛前始發六時二十分、南新京始發六時四十分、財政部白菊町間白菊町始發七時十分、財政部始發七時二十五分、白菊町終發八時四十分、財政部終發八時四十分
▲四號線驛前始發六時二十分陸軍病院始發六時三十五分
▲五號線南廣場始發六時四十五分、寬城子始發七時
▲六號線南關始發七時（但し日曜日は六時四十五分）南嶺始發七時
▲七號線驛前始發六時三十分財政部前は六時四十五分
▲八號線南廣場始發六時五十五分、白菊町始發七時
▲九號線南廣場始發七時、春日町始發七時十五分
▲十號線南廣場始發七時、東站始發七時十五分、東站終發午後八時、南廣場終發午後八時十五分
▲十二號線白菊町始發八時二十分、中銀始發午後四時十分、白菊町終發八時三十五分、中銀終發四時三十分
▲十三號線南廣場始發七時十分、南廣場終發午前八時一分

なほ一號線は午後七時半から六分車隔、通勤時は二號線國務院、財政部間が午前六時四十二分から午前八時十二分まで、三號線財政部、白菊町間が午前六時二十分から午前八時十分まで、四號線午前六時二十分から同八時まで、八號線が午前六時五十五分から八時十五分までにそれ〴〵變更され、右に記載されてない各線終發時間は從來通りに變更はない

凧揚げ大會にバス增發

新京交通會社では二十九日順天廣場で催される市民凧揚げ大會當日は參加者、觀覽市民のため正午から新京驛發順天廣場ゆき（十五錢）及び白菊町發順天廣場ゆき（十錢）の臨時バスを運轉し、會場では小凧五百本を無料進呈のサービスを計劃してゐる、なほ廿八日南嶺で開催される滿洲國植樹節當日も新京驛、南嶺間七號六號線を午前八時十五分から增發運轉する

迷ひ兒あり

二十六日午後四時卅分ごろ城內西四馬路と大經路交叉點附近で三歲位、赤い色毛糸のシャツを着、茶と白まじりの股引きに黒の長靴をはいた女の子の迷子が泣き叫んでゐるのを通行人が發見、大經路警察署で保護を加へてゐるが新京放送局では例によつて午後七時二十分ニュースに挿入して親探し放送を試みた、お心當りの人は電話二―二〇二四まで申出でありたいと

社會事業大會 提出議案出席者決定

五月五、六兩日大連神明高女校で開催される第四回滿洲社會事業大會提出議案並に出席者を詮衡する新京滿鐵附屬地福祉委員會は二十六日午後一時から滿鐵事務局會議室で開催した、出席者滿鐵事務局側田中地方課長、高山社會主事、小野寺職業紹介所主任、藤本吉岡係員、福祉委員側穴澤氏をはじめ全委員にて種々協議の結果左の如く決定三時過ぎ散會した

▲提出議案＝（一）行政移讓後現在の日本人側福祉委員施設は現在より低下せざるやう善處方要望の件（二）救濟院に日本人部を特設し其の部係員は全部日本人を使用せらるゝやう考慮方要望の件（三）既往可決議案の實施方法に就いて其後の經過承りたし（四）今回設立せらる各地結核療養所に施療患者ベット相當數を設置せらるゝやう要望の件（五）各主要都市に精神病棟設置方要望の件（六）痲藥患者遞減運動速進の件

▲出席者＝高山社會主事、小野寺職紹主任、田中、小松、永井各福祉委員

愛國機「萬俵號」二機 きのふ國都入り

三十日晴れの命名式

元北票炭鑛社長萬俵喜藏氏が「お國のために」とぽんと投げ出した金卅一萬圓の國防獻金に內地の獻金若干を加へて見事に出來上つた愛國機「萬俵號」「萬俵其他號」の二機は立川より空輸の途にあつたが、二十六日午前十一時四十七分前者は權田特務曹長、後者は戸田飛行士操縱の下に銀翼を連ねて春光麗らかな國都上空にその雄姿を現はし悠々旋回の後同五十分關東軍始め關係者の出迎裡に新京飛行場へ着陸した、兩機は直ちに點檢の後格納庫に納められ、來る三十日の晴れの命名式を待つことになつたが、機は二つともドイツ・ユンカース一六〇型旅客機で時速二七〇粁、脚引込裝置とフラップ翼を有する最優秀輸送機で命名式後軍專用機として活躍する筈である【寫眞は格納庫に納つた萬俵號ならびに萬俵其他號】

看護婦講習會 廿八日閉會

日本赤十字社篤志看護婦人會新京支會では去る二月下旬以來北安路日赤本部に於て每週一回宛開催してゐた看護學講習會も愈よ廿八日をもつて終了することゝなつたので、當日正午より閉會式並びに茶話會を開催することゝなつた尙講話實習は「毒瓦斯防護法」なる題下に吉井陸軍病院長の出席を得て北條軍醫官が行ふ筈、多數出席を希望してゐる

重い"だけ"金目

近頃鐵の盜難頻々

泥坊にも時代色がある、準戰時經濟體制の餘波を受けて鐵は奔騰に奔騰を續け物凄い値上りをみせ爲に最近頻々として鐵類の盜難があり、四月一日も鐵道北東安屯滿鐵汚水處理工事場の十二ポンド軌條百六十六本、車輛五台、合計時價九百五十圓が何者かの爲盜まれたと助川組から屆出があつたので新京署では工事場の內部に明るいものと見透しをつけ犯人嚴探中、二十五日午前五時頃城內西三馬路上に於て擧動不審の男を取り押へ取調べてみると果して元助川組に働いてゐた靜岡縣駿東郡深良村深良二〇二三小見山莊作（三一）で窃取した鐵類は全部滿人古物屋に賣却し吉林にエスケープし再びふら〳〵と舞ひ戻つて來た處を警戒中の谷本刑事に逮捕されたものである

新京競馬に馬主の不正

內地產馬を走らし賞金詐取を企む

領警署取調べ開始

永い冬籠りの生活から開放された國都の市民一喜一憂の瞬間的黃金夢に熱狂せしめた新京春競馬は去る二十四日より開幕されたが、果然同競馬場馬主をめぐり賞金詐取事件が曝露し健全なる產馬國策の將來に暗翳を投げかけてゐる、新京領警署司法係ではかねてから新京競馬場有力馬主に不正事實ある事を探知し確證を握るべく大活躍をつづけてゐたが、事件は牛馬商が日本と連絡をとり產地證明書を僞造し足の早い內地產馬を裝せらしていかにも滿洲產馬らしくみせかけ競馬に出場せしめ一擧に巨額の賞金詐取を働かうとしたものである、領警署司法係では廿六日午前元騎手現在哈爾濱で牛馬商をしてゐる吉永義重（三〇）を召喚取調べた結果大體次の如き事件の全貌が明らかとなつたものである本人は昨年五月四日內地より馬四頭を買ひ內一頭を元奉天競馬俱樂部理事木谷某に四百圓で賣却した處木谷某は產地を僞り證明書を僞造し玉號と命名し現在の馬主土木建築業者の橋木八十八氏に賣却したものである、尙木谷一味は內地競馬界に迄魔手をのばし二頭の歐洲系滿洲產馬を內地に移出し價格六千圓で賣却した事實もあり事件は滿洲のみならず日滿兩國をまたにかけた大詐欺事件として當局は果然大活躍を開始した、事件解決の鍵は產馬證明書僞造の木谷某が握つてゐるものとにらみ各所に嚴重手配した

八百長はだし

由々しき問題（馬政局談）

產馬國策上重大暗翳を投げかけた懸賞金詐欺の不正事件は成行を注目されてゐるが馬政局では大要左の如く當局の意向を洩してゐる

噂は耳にしたこともありましたが、そう云ふ事實は勿論全然知つてゐませんでした、また警察の方から正式に通告を受けてゐませんので

治法撤廢後における邦人權益の擁護

全滿司法官會議（昨日午後）

第六次全滿司法官會議は廿六日午前中を終へ午後よりいよ〳〵本格的會議に移つた、すなはち本會議において强調せんとする主旨は

一、綱紀肅正 積年の弊風未だ去らず特に綱紀弛緩の風評があるが、司直は至公至平もつて司法威信の顯揚に努むべきである

一、司法機關の改組 縣における司法機關を縣行政より劃然と區別して司法の獨立を期し本年度より三ケ年の分期計畫を樹て、これが實施に着手す

一、司法々規の撤底 刑法、刑事訴訟法は旣に公布を見民法、民事訴訟法、商法も六、七月頃には公布され滿洲國の所謂六大法典の制定は完成されるので、各官は專門的研鑽を怠らず法の運用に過誤なきを期すべきである

一、領事裁判權の撤廢 日本が滿洲國に享有する治外法權は領事裁判權、附屬地行政權の撤廢によつて完全に撤廢されるので、滿洲國民はこの感謝の意を表するため治法撤廢後においても在滿日本國民の權益を充分擁護すべきである

以上四點である、しかして午後は劈頭旣報の如く馮司法部大臣の訓辭あり、林最高法院長の演述、李最高檢察長、向檢察官の訓辭を終つて、次に古田司法部次長より人事の刷新、縣司法機關の改組、次長の執務、豫算の執行に關し指示あり、靑木民事司長より民法、商法、民事訴訟法および强制執行法は本年六月末頃一齊に公布し、その他各種登記法、非訟事件手續法、民事調停法、外國法人法、公示催告手續法等も本年末までには公布されるので新法規の研究に努力すべきである旨を述べ今回公布の工場抵押法に關する注意があり、更に飯塚刑事司長より刑法、刑事訴訟法の精神につき說明あつて、午後五時散會第一日の會議を終つた

古田司法部次長談

二十六日から三日間、國務院會議室において開催中の第六次全國司法官會議に關し古田司法部次長は次の如く語つた

今回の會議は治外法權撤廢を間近かに控へて旣に刑法は實施され刑事訴訟法も六月一日から實施される、また民法、商事法、民事訴訟法等の民事法も十二月までに出る事になつて居りこれらの運用について充分打合せする事となつてゐる、司法といふ事が面目を改めるか否かはその運用如何が至大の關係を持つものである第二にはこれまで地方の縣旗等に司法權機關があつたものを法院組織に改める事になつた、すなはち五十三の縣、旗にあつたそれらの機關が卅七の區法院に改められる、この點について種々協議する、以上が主なる中心題目である、なほ本會議には地方司法機關の長及び次長九十四名が出席してゐるが更に朝鮮、關東州及び日本側司法領事等も列席されてゐる

特別市始政記念 學藝會盛況

新京特別市始政四周年記念慶祝學藝大會は午前の式典に引續いて二十六日午後一時三十分から大經路兩級小學校、講堂で開催されたが市立女子中學校、市立各小學校、及び吉林省立長春兩級中學校、私立各小學校、生徒約四百名參加演劇、唱歌、舞踊、團體遊戲等何れも見事な出來榮えを見せ、多數參觀者の拍手を浴び同四時盛大裡に終了した

京山小圓浪曲會 いよ〳〵今夕限り

京山小圓一行の浪曲公演は攝津辨天等の特別加盟を得て廿六日夜六時より記念公會堂において華やかに蓋を開けたが豐富な陣容を備へた大衆料金の特別奉仕に會場は多數の聽衆によつて埋められ異常な盛況を見せた、引き續いて今晚六時より二日目を開演するが本紙刷込み割引券を使用すれば入場料一圓のところ五十錢引きとなるから御利用をおすゝめする

交通訓練 好成績に終る

明朗國都正しき交通を標榜して二十四日より三日間に亘り擧行された交通訓練デーは新京署、首都警察廳の指導のもとに市內全交通機關總動員して行はれ三日間の中唯一回の交通事故を起しただけで二十六日大成功裡に終了した、新京署では更に交通道德の徹底を計るため每月一回づつ交通訓練デーを催すこととなつた

靖國神社大祭に 日本側機關休み

關東軍司令部では二十七日は靖國神社臨時大祭につき、二十九、三十兩日は同じく慰靈祭に當るので休日とすることになり、關東局、大使館でも同日は特に緊急なる公用なき限り關東軍司令部に倣ひ大體休日同樣とすることゝなつた尙滿鐵新京事務局も休業する

フロレンソーダ

傷病將兵の送り迎へ遺骨の出迎へ皇軍將兵の歡送迎等々一度として新京驛に顏を見せないことの無い岩坂李三郎氏▼每月一日には西公園內海軍記念碑に詣で軍艦旗を掲揚して無敵艦隊の武運を祈り併せて往時の海の生活を偲び▼護國の英靈安らかに眠る忠靈塔に對しては雨が降らうと雪が降らうと今日まで一日として參拜を缺かしたことがないといふ熱心さは▼吉興行梯節と共に忠靈塔參拜の雙璧として聞く者を感激させてゐる

悲戀 髑髏組（映上畫化演）

林 杢兵衛

（七十二）

金子士郎畫

岡ッ引の眼（五）

茂十は慌てゝ懐から、例の證書を取り出すと、急いでその二枚目を開いた。

黒猫お峰の罪状書を繪姿入りで、人相や特徴が詳しく認めてある。

――年齢二十三四、色白く、切長の眼大きく澄んで、頭髪黒し、一見大家の娘風を裝へる美女、衣裳は常に縮緬の振袖、模樣は小櫻に御所車。または菊に波形のものあり――

「むーう。茜屋の、こりやお手柄だ。確かにお峰に違えねえぜ」

傍らで、默つて二人の話を聞いてゐた佐治兵衛は、吃驚して、飛び出しさうに大きく眼をむいた。

（とッほッほ、えらい女に家を貸したものだ、それぱかりぢやない、そんな大それた女とも知らないで、年甲斐もなく助平心を起したが、よくもまアそれでも、引ッ掛らなくて濟んだものだ。あの時、まかり間違つて引ッ掛らうものなら、佐治兵衛の身代はおろか、命までも危ふいところだつた。それにしても、こんな女を女房に持つあの侍。ことに依るとあれだつて普通者ぢやないかも知れぬ。こりやア大變なことになつた。此の分ぢや、あの蠑螈長屋は滅茶々々ぢやわい）

佐治兵衛の顔色はまるで土のやうだ。

そうした擧動に氣がついた矢の倉茂十

「どうした佐治兵衛？」

「どうもこうも御座いません、どえらいことになりました」

「何がだ？」

「こりやア蠑螈長屋も滅茶々々ですわい」

「どうしてだ？」

「さつき話しましたその女の名がお峰ですもの……」

「なにお峰……さうか、よし、佐治兵衛案内をしろッ！」

茜屋の源七は起ち上つた。

「矢の倉の、お前も手を貸してくれるか」

「うん、それはこつちからお願えしたい位え、是非手傳はして貰えてえ」

「それぢやアこれから……」

「合點だ！」

二人は、狼狽て同じところを、きりきり舞つて困る佐治兵衛を、足元から鳥の立つやうに急き立てた。

嵐の前の靜けさにも似た一刻。

時々、長太息を洩らしながら、お峰の重苦しい胸騒ぎをよそに、前の樓で囀々しい百舌鳥の高囀き。

刑部の晴着に、一針づゝ、覺束ない針を運んでゐるお峰だ。

愈々明日は、新銭座の下屋敷で藩主板倉侯に初お目見得をする刑部。

その身につける一世一代の晴着だ。

お峰の懊惱、煩悶を知る由もない刑部は、傍らに寝そべつて、晴やかな顔を差し向けてゐる。

「明日はそれを着て、殿に晴れのお目通りぢや。それから武道場において初めのお相手を申し上げ、それが濟むと御酒肴を賜つて、その席で改めて家中御一統へ御披露を下さる次第ぢや」

あすの順序を豫想して、刑部は喜悦の頂上に居る。煩悶する中からお峰も嬉しかつた。

「喜こべお峰。其方も、もう浪人の妻ではない、二百石取りの立派な武士の奥方ぢや」

「妾のやうな者が……何んだかまだ夢のやうな氣が致します」

「夢ではないぞ、苦しんだ者が幸福になるのは天の理だ。ゆしも卑下するには及ばぬことだ」

さう云ふ刑部の言葉尻を取つた者が屋外にある。

「惡い事をした奴が、繩にかゝるのもまた天の理だ」

「なに？ 何者だッ！」